

テニスの歴史がここにある。

貴重な資料を展示する「テニス資料館」

## 平

成15年10月、藤波台緑地センターに「テニス資料館」がオープンした。

表孟宏氏（神戸松蔭女子学院大学教授）が40年間収集してきた貴重なテニス資料約5000点の寄贈を受けての開館だった。資料館には日本最古のラケットを含む歴史的資料、グッズ、コレクションが展示されている。今年4月には神和住純氏からも約1500点の寄贈があり展示スペースを拡充した。

現在、日本には本格的なテニス博物館は存在せず、この資料館は全国のテニス関係者から注目を集めている。

日本最古のラケット  
(明治40年代)



広報のと 第34号

平成19年12月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課  
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1号1-01番地-1

TEL: 0768-62-11000 FAX: 0768-2016-1111  
FAX: 0768-62-11000 FAX: 0768-2016-1111  
URL: <http://www.town.noto.shikawa.jp>  
Eメール: [info@town.noto.lg.jp](mailto:info@town.noto.lg.jp)

広報のと  
No. 34  
2007.12  
**能登**



百年目の  
LOVE  
ALL

～特集・新しいテニスのまちへ～

# 12

平成19年

# 百年目の LØVE ALL

～特集・新しいテニスのまちへ～

全国に誇る施設、全国レベルの選手たち  
そう、この町は「テニスのまち」だ。  
叫ばれる交流人口の拡大、町の活性化、健  
康づくりにテニス果たす役割は予想以  
上に大きい。  
今、もう一度テニスを見直そう。  
そして、みんなで考えよう。  
新しい「テニスのまちづくり」を――

## 能登 CONTENTS

目次

平成 19 年 12 月号

|  |    |
|--|----|
| 百年目のLØVE ALL<br>～特集・新しいテニスのまちへ～  | 3  |
| 人の間に Vol.18<br>第 2 回町顕彰条例表彰を受賞した三宅セツ子さん                                      | 24 |
| 秋の褒章・叙勲、大臣表彰 など  | 26 |
| まちのできごと<br>町民文化祭／寺田川ダム竣工式／いどり祭り／<br>久田船長碑前祭／防火パレード／松波城趾情報館／<br>羽根万象先生を偲ぶ会 など | 28 |
| くらしの掲示板<br>お知らせ／募集／催し／相談／能登町クイズ 100 選<br>能登丼コンテスト など                         | 32 |
| 文化&スポーツ案内・結果   | 36 |
| 図書館・児童館案内<br>遊々能登～奥能登イベント情報～   | 37 |
| 安心安全まちづくり／国民年金のはなし／入札結果  | 38 |
| 健康インフォメーション  | 40 |
| 有線テレビ番組案内<br>町民文化祭芸能部門放送内容   | 42 |
| こせきのまど／寄付／人口動態   | 43 |



### ◀今月の表紙

藤波運動公園で毎日のように練習する能登ソフトテニススポーツ少年団。試合を控えた選手たちはコーチの指示を受け、真剣に練習していた。



3  
大正～昭和～平成のラケット



24  
町顕彰条例表彰受賞



26  
藍綬褒章



31  
松波保育園園児による防火パレード

# 第1章 築かれた伝統



かつて旧能都町は「テニスの町」を宣言し、ソフトテニスは「町技」と呼ばれていた。多くの先人たちの汗と涙が築きあげた伝統。その歴史を紐解く。

写真：昭和2年、能奥庭球リーグ戦で全勝した牛湾倶楽部（宇出津）

## 伝統の礎は、百年前に遡る

### 板テニスから軟式テニスへ

明治40年ころ、鶴川地区の小学生たちは放課後に神社やお寺、小学校の運動場の片隅で板で作ったラケットと手まりでテニスのまねごとをしていたといわれている。

能登町における正式な軟式テニスの発祥は大正3年、井東節太郎氏が鶴川尋常小学校に赴任し紹介したことに始まる。その後、鶴川を中心に瑞穂、三波宇出津と尋常小学校のある地域へ拡大していった。

### 盛んになった学童テニス

学校を中心に普及したテニスは各地で社会人を対象とした庭球団が結成されるなど次第に地域に根ざしていった。

各小学校主催の学童庭球大会では、珠洲・穴水・柳田・小木などの学校からも参加があったと記されている。また大正15年から開催された石川県学童大会では、第14回の大会まで鶴川が

優勝4回、宇出津と瑞穂が1回という成績を残し、現在の礎は、この時に築かれたといえる。

### 戦後復活期と中学生の活躍

戦争のため禁止されていたテニスは、昭和22年の第2回石川県体を機に各地で復活した。

昭和20年に宮地中学校に赴任した武淵一男さんは、生徒に勇氣と自信と積極性を持たせようとテニスを教えることを決意した。武淵さんは「戦争直後の運動場は一面芋畑でテニスどころではなかった。畑をコートにするのは本当に苦勞した」と当時を振り返る。そして宮地中学校は昭和25年の県大会で1位、2位を独占。「生徒たちは何事にも自信を持つようになった。それ以降ソフトテニス教育にも役立つと思ひ、夢中になってやった」ということだ。

「練習に泣いて試合で笑え」という信念のもと厳しい練習をさせたという武淵さんだが「自分が教える生徒はできるだけ3年間担任として持ち上がり、勉

強から健康管理、精神面まで気を配っていた」という。

昭和20年代から30年代は鶴川・瑞穂・宮地中学校が中心だった中学校のテニスだが、昭和38年に太島彰信さんが能都中学校（当時宇出津中学校）に赴任してからは、能都中学校と鶴川中学校の全盛期が続いた。

武淵さんは現在のテニスの状況について「勝つことが当たり前のように思われるが決してそうではない。伝統を築いた人たちの苦勞も理解してあげないといけない」と語った。



武淵 一男さん

【むぶち・かずお】山田 中学生の育成に情熱を注ぎ、今日の礎を作った一人。県中体連役員としても活躍しテニスの普及に尽力した。82歳。

## History of Tennis

### 能登町テニスの歴史

- 1907(明治40)年 鶴川地区で小学生たちが板ラケットと手まりで遊ぶ(板テニス)
- 1914(大正3)年 井東節太郎氏が鶴川尋常小学校に赴任し、正式にテニスを紹介
- 1921(大正10)年 鶴川庭球団、宇出津庭球団が結成
- 1923(大正12)年 瑞穂庭球団、三波庭球団が結成
- 1925(大正14)年 三波小学校主催、能奥学童庭球大会開催(優勝・三波小学校)
- 1926(大正15)年 宇出津尋常小学校創立50周年記念庭球大会(優勝・瑞穂小学校)
- 1927(昭和2)年 第2回石川県学童大会で河合大八・川端正治組(鶴川小)が優勝
- 1928(昭和3)年 第3回大会で神和住 正・馬渡勇組(宇出津小)が優勝
- 1932(昭和7)年 第7回大会で仲谷進之介・中田作之助組(鶴川小)が優勝
- 1936(昭和11)年 第11回大会で宮本清次郎・赤崎義雄組(瑞穂小)が優勝
- 1937(昭和12)年 第12回大会で篤猛雄・馬場清次組(鶴川小)が優勝
- 1938(昭和13)年 第13回大会で葛西健次・馬場清次組(鶴川小)が優勝
- 1947(昭和22)年 第2回石川県国体開催、ソフトテニスは七尾市鳳珠郡軟庭協会結成(輪島市含む)
- 1949(昭和24)年 第1回石川県体育大会
- 1951(昭和26)年 第1回石川県総合体育大会
- 1952(昭和27)年 鶴川町小・中学校テニス大会開催(PTA主催)
- 1953(昭和28)年 第2回県大会で男子高岸・牧組(鶴川中)優勝
- 1955(昭和30)年 第3回県大会で男子高岸・牧組(鶴川中)優勝
- 1955(昭和30)年 第5回県大会で男子七波・黒津組(鶴川中)優勝
- 1956(昭和31)年 第6回県大会で女子長道・佐々木組(鶴川中)優勝
- 1957(昭和32)年 第7回県大会で男子仲谷・馬場組(鶴川中)優勝
- 1958(昭和33)年 第8回県大会で男子大門・辻口組(瑞穂分校)が優勝、以後2連覇
- 1964(昭和39)年 第14回県大会で女子山辺・府波組(能都中)優勝
- 1966(昭和41)年 第16回県中学校大会から団体戦が始まり、男子鶴川中、女子能都中が優勝。以後団体戦個人戦において鶴川中、能都中が上位を占める
- 1967(昭和42)年 能都町軟式庭球協会発足
- 1971(昭和46)年 第2回全日本少年少女軟式庭球大会で大屋しのぶ・二谷圭子組(能都中)が準優勝。石川県勢初の全国大会入賞となる
- 1972(昭和47)年 県中学校体育大会で能都中が完全優勝
- 1973(昭和48)年 第1回石川県小学生軟庭大会を能都町で開催
- 1977(昭和52)年 第1回国際ジュニア選抜親善大会(千葉県で鶴川中(男子)が優勝)
- 1978(昭和53)年 第8回全国中学校体育大会で佐々木伸治・奥野成文組(能都中)が優勝
- 1979(昭和54)年 能都町スポーツ少年団が誕生
- 1978(昭和53)年 8月、全日本高校選手権大会(滋賀県)で刈崎満・石田茂樹組(宇出津高)が優勝
- 1983(昭和58)年 県立能都健民テニスコート(16面)が竣工
- 1984(昭和59)年 第38回全日本大学対抗軟式庭球選手権大会(インカレ)開催
- 1985(昭和60)年 第1回全日本小学生軟式庭球選手権大会(千葉県)で西祥子・石井里江子組(宇出津小)が優勝
- 1985(昭和60)年 山田良平氏死去
- 1985(昭和60)年 全日本高等学校軟式庭球選手権大会(インカレ)開催
- 1985(昭和60)年 第2回全日本小学生軟式庭球選手権大会で(千葉県)で男子団体優勝
- 1986(昭和61)年 12月議会において「テニスの町宣言」を決議
- 1986(昭和61)年 第1回山田杯争奪軟式庭球選手権大会開催
- 1986(昭和61)年 明治大正会・第4回石川県能都大会開催

# 「テニスの町」を宣言した町

## 宇出津高校の黄金時代

「宇出津高校から日本一の選手を」という目標を掲げ、昭和45年から山田良平氏（故人）が宇出津高校の指導者となった。以後16年間、宇出津高校は県大会で男子団体10連覇を含む12勝、女子も6連覇を含む11勝を挙げた。昭和54年には滋賀県長浜市で開催されたインターハイソフトテニス競技で、宇出津高校の刈崎・石田組が見事優勝し念願の高校生日本一に輝いた。

## 16面完成 全国大会誘致へ

昭和58年、藤波台地に能都健康テニスコートが完成した。「産業のない町に全国大会を誘致することで町を活性化させたい」という大森稟世町軟庭協会会長（故人）の考えを受け、旧能都町教育委員会はテニスコート完成前から大会誘致に全国を奔走した。当時社会教育課長だった馬渡武久さんは「健民コート開場時には3年後までの3つの全

国大会、ブロック大会2つ、県大会11の開催が決まっていた」と振り返る。

昭和59年夏にインカレ、翌60年にはインターハイ、62年から全日本小学生軟式庭球大会を3年連続開催、平成2年には全日本実業団と毎年のように全国規模の大会を誘致して実績を挙げた。

「インカレのときは1週間延べ8600人が宿泊して、町の焼肉店や寿司屋から肉やネタがなくなつた。インターハイでは抽選会を地元で、しかもあはれ祭の日につづけてやった。これで『能登はすごいところ』という印象を与えることができたと話す馬渡さん。「地元が強いから大会が誘致しやすいし、合宿にも来る。選手にも地元出身者がたくさんいたし、本当にやりやすかった」という。

## 国体の開催と成功

「最終目標は国体の開催」と掲げた町は、昭和60年12月議会において「テニスの町宣言」を

## テニスの列伝 I

町にテニスを伝えた

# 井東 節太郎

Ito Setsutarou (1891 ~ 1944)



## 町

に本格的なテニスを伝えた井東節太郎氏は金沢の社会人スポーツクラブ「金城団」に所属し、県のトッププレーヤーとして活躍していた。明治43年に東京師範学校に入学し、能登町においては鶴川、宇出津、三波小学校に赴任して軟式テニスの普及に力を尽くした。

大正10年ごろには、鶴川、宇出津、瑞穂、三波で次々と社会人による庭球団が結成、庭球団主催の大会も各地で行われた。宇出津庭球団（のちに牛湾倶楽

## 大

正3年、宇出津に生まれた神和住正氏は、宇出津小学校でテニスに没頭していた。昭和3年の石川学童大会で優勝したときは、船で故郷に錦を飾り町内を華々しくパレードしたと語り継がれている。その後東京へ渡り、都庁に勤務しながら正確なストロークと沈着な試合運びで日本のトッププレーヤーとなった。昭和42年まで選手として活躍しながら日本軟式庭球連盟常務理事として軟式テニスの普及・指導に尽力した。妻の静子さんは旧

決議、官民一体となって国体開催を県下市町村や関係団体に陳情した。各種全国大会の実績や町ぐるみの協力体制が評価され、ついに国体の開催地に内定。

平成2年には「雨でも大会ができる」よう当時日本一の屋内テニスコート「WAVEのと」を完成させ、平成3年の国体は成功裏に終わった。

馬渡さんは「まだまだ誘致できる大きな大会はある。民間では誘致できないので町が主体となって今後も計画的に大会を誘致してほしい」と訴える。

## 馬渡 武久さん

【まわたり・たけひさ】宇出津元役場職員。昭和63年に社会教育課長から国体室長となり、テニスの大会誘致、国体の準備に全力を注いだ。69歳。



部として再結成）は井東氏が発起人となり14人で結成された。また宇出津小学校の指導者として、神和住正・馬渡勇組を第3回石川学童大会優勝に導いた。武淵一男さんは井東氏の親戚にあたり、師範学校時代の井東氏との思い出を語ってくれた。「わたしが師範学校1年のころ、井東先生が金沢に来ると必ず訪ねてきてテニスを指導してくれました。当時のテニスは何十本もラリーを続けるという時代で、いかにも軟式テニスらしい打ち方を指導してもらった」。

## テニスの列伝 II

歴史の礎を築いた

# 神和住 正

Kamiwazumi Tadashi (1914 ~ 1999)



- 1987(昭和62)年 第3回全日本小学生軟式庭球選手権大会(千葉県)で石田晋也・高崎半津郎組(三波小)が優勝
- 1988(昭和63)年 第4回全日本小学生軟式庭球選手権大会開催
- 1990(平成2)年 第5回全日本小学生軟式庭球選手権大会開催(男女団体アベック優勝、男子個人橋本信康、柳繁治組(鶴川小)が優勝)
- 1991(平成3)年 関西実業団連盟硬式庭球大会開催
- 1992(平成4)年 第6回全日本小学生軟式庭球選手権大会開催
- 1993(平成5)年 第1回ヨネックス杯北信越中学校研修大会開催、男子で能都中が優勝
- 1995(平成7)年 屋内テニスコート「WAVEのと」が完成。テスト試合、第15回北信越高校インドア大会開催
- 1996(平成8)年 全日本実業団大会開催(国体リハーサル大会として)
- 1997(平成9)年 第46回石川国体開催。石川県が男女総合優勝、女子総合優勝
- 1998(平成10)年 東日本選手権大会開催
- 1999(平成11)年 第23回全国中学校ソフトテニス大会開催(国際ルールが採択され軟式庭球からソフトテニスへ)
- 1999(平成11)年 都道府県対抗中学生ソフトテニス大会男子団体で能都中・鶴川中の合成チームが優勝
- 1999(平成11)年 第28回全国中学校ソフトテニス大会(徳島県)で小西真希子・久本香代組(能都中)が優勝
- 1999(平成11)年 第13回全日本小学生ソフトテニス選手権大会(宮城県)で竹内志津・丸谷佳代(鶴川小)が優勝
- 1999(平成11)年 都道府県対抗中学生ソフトテニス大会女子団体で能都中の合成チームが優勝
- 1999(平成11)年 第28回全国中学校ソフトテニス大会(徳島県)で小西真希子・久本香代組(能都中)が優勝
- 2000(平成12)年 大森稟世氏死去
- 2000(平成12)年 北信越中学校総体で能都町勢が完全優勝
- 2000(平成12)年 第29回全国中学校ソフトテニス大会(福島県)で小西真希子・坂亜沙美組(能都中)が優勝
- 2000(平成12)年 神和住正氏死去
- 2001(平成13)年 県高校総体で宇出津高校が男女団体、個人共に優勝
- 2001(平成13)年 健民コートがクレーから砂入人工芝へ
- 2001(平成13)年 日韓交流団 韓国へ
- 2001(平成13)年 石川スポレク祭ソフトテニス競技会場
- 2001(平成13)年 北信越高校大会で宇出津高校が男女アベック優勝
- 2004(平成16)年 神和住純エンジョイテニスフェスティバル開催
- 2004(平成16)年 第3回全国小学生ソフトテニス大会(千葉県)男子4年生以下の部で寺下光平・浜高彰仁組(鶴川小)が優勝、女子5年生の部で二田早智子・谷内萌組(宇出津小)が優勝
- 2004(平成16)年 第21回全日本小学生ソフトテニス選手権大会(山形県)女子個人で二田早智子・谷内萌(宇出津小)が優勝、団体で石川県代表が優勝(宇出津小から二田・谷内・佐々木、真脇小から寺越が選抜)
- 2005(平成17)年 第4回全国小学生ソフトテニス大会(千葉県)女子4年生以下の部で佐々木美和・山瀬侑希組(宇出津小)が優勝
- 2005(平成17)年 全日本学生選手権大会開催
- 2006(平成18)年 第5回全国小学生ソフトテニス大会(千葉県)女子5年生の部で佐々木美和・山瀬侑希組(宇出津小)が優勝
- 2007(平成19)年 全国ジュニア王座決定ソフトテニス大会(三重県)鶴川中男子が準優勝、能都中女子が優勝
- 2007(平成19)年 第23回全日本小学生ソフトテニス選手権大会(高知県)女子個人で佐々木美和・山瀬侑希組(宇出津小)が優勝
- 2007(平成19)年 JPTA能登国際女子オープンテニス開催
- 2007(平成19)年 第38回全国中学校ソフトテニス大会(宮城県)で二田早智子・佐々木真子組(能都中)が準優勝

## 選手の気持ち



鵜川小学校 6年  
清水 寛生 さん (柿生)  
Shimizu Kansei

大会で上位入賞している兄貴たちを見て格好いいと思い、小学校1年からテニスを始めました。中学校へ行ってもテニスを続けて北信越大会に出場したいです。



能都中学校 1年  
佐々木 美和 さん (宇出津)  
Sasaki Miwa

テニスは、お姉さんがやっていたので小学校1年生から自然と始めました。今はテニスも勉強も両方頑張れるようになりました。目標は能都中のみんなと全中に出場することです。



能都北辰高校 3年  
高宮 大介 さん (波並)  
Takamiya Daisuke

テニスを通じて「あきらめない心、流されない気持ち、他人への感謝」を学びました。大学へ進学しても大好きなテニスを続けて、国体メンバーに選ばれるよう頑張りたいです。

**伝統を守っていききたい**  
ソフトテニス部の顧問として全国大会や各種の大会に参加していると感じることは、能都中学校ソフトテニス部の「伝統の力」です。その意味で伝統を築

いてくれた先輩たちや指導者に感謝せずにはおられません。現在の部員数は1年生女子が7人と少ないですが、月曜日と水曜日の週2回は能都北辰高校の部員と合同練習も行っています。「練習が厳しいのでは」とよく質問されますが、時間はほかの部と変わらず学校で決められた時間に終わり、練習試合に出かけることもありません。

わたしも部員たちも、4月になり新入部員が入ってくることを楽しみにしています。テニスの経験は問わないし関係ありません。新入部員を迎えて「学校生活が1番で、テニスは2番目」「先輩と後輩の壁がなく、先輩が優しい」などの能都中学校ソフトテニス部の伝統をこれからも守っていききたいと思っています。

石川国体や石川インターハイに向けて汗や涙を流した先輩たちを思うと、熱い気持ちや責任感が頭をよぎります。今後は地域の人たちや地元の小中学校とも連携して、ソフトテニスを通して能登町を全国に発信できるように選手たちと一緒に努力したいと考えています。

夕日が沈みテニスボールが見えなくなるまで白球を追う選手たちの姿は、ずっと昔から変わらない。



ソフトテニス部顧問  
南 力蔵 先生  
【みなみ・りきそう】

**能** 都中学校ソフトテニス部は今年、北信越を制して団体戦で全国大会6回目の出場を果たしました。団体の結果はベスト8、個人でも準優勝することができました。過去には平成12年の団体準優勝や、個人では2回日本一の栄冠を手に入れています。

能 都北辰高校ソフトテニス部は平成12年、旧宇出津高校の伝統を引き継ぎ、テニスの町というすばらしい環境のもと新しい歴史を求めて再出発しました。現在の部員数は男子6人、女子10人で団体戦に出場できる境界線のメンバーで毎日汗を流しています。選手たちはジュニアからボールに親しんでいる地元中学校出身者が多く、ソフトテニスの歴史をつなぐ役割を担ってくれています。部員数が減少し廃部の危機にさらされていますが、その際は町の方々



ソフトテニス部顧問  
矢知 寛幸 先生  
【やち・ひろゆき】

からの支援を受けて継続してこれたのだと感謝しています。

小中学校と連携して  
能登町は藤波台のテニスコートという物質的な環境だけでなく、周囲からの応援という精神的な環境も整っていると思います。生徒たちにとっても、礼儀や協調性などソフトテニスから学ぶことはとても大きいのではないのでしょうか。

## 第2章

## 受け継がれる

## DNA

少子化の流れの中で年々減少するテニス人口。それでも能登町の子どもたちは白球を追い、ラケットを振り続けている。伝統を受け継ぎながら、進化するDNAをこれからも応援していききたい。

子どもたちの活動の場である少年団や学校の部活動。それぞれの現状や選手たちの気持ちは――。

## 能登ソフトテニススポーツ少年団



母集団会長  
下島 宏信 さん  
【しもはた・ひろのぶ】

**現** 在、能登ソフトテニススポーツ少年団の団員数は小学2年から6年までの24人（男10人・女14人）となっています。わたしたちが住む瑞穂地区では、スポーツをやりたい場合はソフトテニスしかありませんでした。それでも兄や姉の姿を見て、あこがれた下の子どもたちは自分からテニスをしたいと話してくれました。ほかの団員にも兄弟でソフトテニスをする子が多いです。

## 子どもの成長を感じる

子どもたちはほとんど毎日学校や藤波台で練習しています。毎日ラケットを抱えて通学する様子を見ると、本当に「白い球」が大好きなんだと思います。練習はすべてコーチに任せて自分たちは迎えに行かなくては、たまに練習を見るときはと前までは取れない

かったボールを打ち返せるようになっていたり日々子どもたちの成長を感じることができま。練習や試合はできるだけ見に行きたいと思っていますが仕事の都合もあり、なかなか行けないことが悩みですね。そんな時は迎えをほかの保護者にお願いしたりと親同士がお互い協力しながら子どもたちを応援しています。

## 頑張る子どもたちをサポートしたい

スポーツ少年団活動では、子どもたちはいろいろな経験をします。特にソフトテニスでは毎年のように全国大会へ出場するなど、なかなかできない体験をさせることができます。遠征には費用もかかりますが、それでも行くだけの価値はあると信じています。

一つのことには打ち込むということは、きっと子どもたちの将来のためになります。母集団として、これからは頑張る子どもたちをサポートしていきたいと思っています。

自分を超えてくれた  
子どもたちに  
感謝している。



あるテニス一家の物語

吉岡 武さん

Yoshioka Tsuyoshi

【よしおか・つよし】宇出津

妻の智子さん、長女みのりさん、長男翔太さんの4人共に能都中一宇出津高校（北辰高校）でテニス選手として活躍。飲食店経営、50歳。

山田良平先生に鍛えられ  
今の自分がある

わたしは小学5年生のときソフトテニスを始めました。身近な野球や卓球とは違って新鮮な感じがしておもしろかったと今でも記憶しています。

そのまま中学、高校とソフトテニスを続けました。中学校時代は3年生のときに全国大会で個人ベスト8、宇出津高校では3年生のときにインターハイ団体3位になりました。

当時宇出津高校は山田良平先生が指導していて、テニスをするために宇出津高校に来る人もいました。山田先生の練習は本当に厳しかったです。「全国で優勝する」ということを頭に入れて常に上を目指した練習でした。厳しく鍛えられたおかげでどんなことにも耐えられるという自信が付き、その後の人生において本当に役に立ったと思っています。

DNAを感じた  
子どもたちのテニス

高校卒業後は調理師を目指し大阪へ行き、10年間過ごしました。その後金沢のホテルに就職し34歳のときに故郷である宇出

津に戻ってきて、みのり（長女）と翔太（長男）にソフトテニスを勧めました。子どもの練習には付き合いましたが家庭内ではテニスの話は禁句状態でしたね。子どもなりに親とコーチの言うことが違うと感じていたようです。

二人とも宇出津高校に進学し国体やインターハイで活躍してくれました。このころは自分がやるよりも楽しく、面白かったですね。ほかの父兄と声を枯らして応援したことは何とも楽しい思い出として残っています。二人のテニスは、体ができてから自分の現役時代と同じテニスをするようになりました。DNAでしょうか、打ち方もスタイルも本当に似ていました。

みのりは高校卒業後、翔太は大学卒業後に実業団に入りました。子どもたちには「3年間は我慢しろ」と言ってお実業団に行かせました。

みのりとは帰省したときに藤波に行つて乱打をしたりシングルの試合をしたり、小中学生に混じって一緒にテニスをしました。翔太も帰ってきたときは中学校や高校に顔を出しているようです。今では翔太はわたしのレベル

を超えています。ファンとして見ている感じがですね。いずれ娘夫婦と自分たち夫婦でダブルスの試合をやりたいとも願っていますがまだ実現していません。

遊びのテニスも楽しいと  
伝えたい

わたしは親として、子どもの応援に一生懸命になるという経験をさせてもらい、全国いろいろな所に連れて行ってもらいました。テニスを通じて親同士のつながりもできました。子どもたちに感謝しますし、テニスをやらせて本当によかったと思っています。

今の自分が子どもたちに言えることは「遊びのテニスも楽しいから、歳をとつても続けてほしい」ということだけです。

「宇出津からテニスの灯を消したくない」と話す西吉和さんは、指導者になつたきっかけを「自分は学生時代に清田清吉先生、太島彰信先生に教わり、指導者に恵まれていた。そういう指導者に対するあこがれがあった」と振り返る。

「小学生にはテニスの楽しさを、中学生には勝つ喜びを教えたい」という西さんだが、現在宇出津小学校でテニスをする児童は1人、中学校も1年生7人だけという状況だ。

「子どもたちは毎日一生懸命練習している。宿題もしっかりさせるし、塾に通っている生徒もいる。親から見れば安心して子どもを預けられる場所じゃないかと思う」と話す西さん。テニス人口増加のため、子どもたちが強くなるためには「親の理解も必要」と訴える。

「子どもたちにはテニスで鍛えた根性を生かして、最後まであきらめない人間になって欲しい」と願い30年以上指導を続けてきた西さんは、あと2年で定年退職を迎える。「清田先生は80歳近くまで片腕でラケットを振っていた。自分も体が動く限りテニスを指導したい」と考えているが、そのためにはソフトテニスの底辺拡大という問題がある。

「自分が教えた選手が母親になり、その子どもたちも保育所に増えてきている。退職したら保育所の子どもたちを集めてテニスを教えたい」と笑う西さん。「テニスの灯を消さない」ために、まずは目の前の子どもたちを精一杯指導することで「ソフトテニス強い町」を作り続ける。

【にし・よしかず】 崎山 公務員。スポーツ少年団の指導者として全日本大会で5回の個人優勝などに導く。現在は能都中学校の外部コーチ。57歳。

西 吉和

Nishi Yoshikazu

# 指導者の思い

「あ いさつができること、そして元気よく」。これが能登ソフトテニススポーツ少年団と鶴川中学校を指導する當日昌次郎さんの指導方針だ。

ソフトテニスの練習はほとんど毎日、藤波台や学校のコートで行われる。練習中は厳しく叱ったり、優しく声をかけたり、冗談を言ったりと見ている方もおもしろいと感じる。厳しい練習というイメージもあるソフトテニスだが「つらい練習まではやっていない。子どもたちもついてきてくれている」と話す當日さんには「子どもたちに勝つ喜びを教えてあげたい」という強い思いがある。

少年団も中学校も目指すは「全国」。當日さんは長年の指導経験からどうすれば全国にいけるか分かっているという。「最近ではほかの地域のレベルも上がってきた。それでも練習をしっかり

やれば小学校も中学校も全国大会に出場できる」と言い切る。

當日さんにも悩みはある。地理的条件から練習試合が組めず試合経験が乏しいことと子どもたちの人数が年々減っていることだ。「子どもがソフトテニスをやりたいと言っても、親が反対する場合もある。それだけが寂しい」という。

「指導する子どもたちは自分の子どもだと思っている」と話す當日さんに指導を続けてきた理由を聞いた。

「勝って帰ってくる子どもたちの笑顔が忘れられないから」。

そう話しながらも、當日さんの視線は常に白球を追う子どもたちに注がれていた。

【とうめ・しょうじろう】 鶴川

自営業の傍ら昭和53年から少年団の指導者として活躍。平成3年からは鶴川中学校の外部コーチも兼ね、小中学生を何度も日本一に導く。54歳。

Toume Syoujirou

當日 昌次郎



Jun Kamiwazumi

# 能登町テニスのDNAを受け継いだ 最高のプレーヤー「神和住純」

今年で7回目を迎えた「神和住純エンジョイテニスフェスティバル」が10月6・7日、健民テニスコートで開催された。大会では県内外から訪れた約100人がプロとの交流や試合を楽しみ、レセプションでは能登町の味覚を満喫した。

今回、来町した神和住さんに能登町への思いやテニスのまじぶくりについて話を伺った。

**Q 能登町との縁は？**

**A** わたしの父である正が宇出津、母が旧鹿島町の出身であることから、子どものころはたまたまに帰って故郷の空気に触れていましたしキリコにも乗ったことがあります。神和住という地名もありますが元々は神和住の出身で自分のルーツを調べたことでもあります。

父からは宇出津小学校で先生たちに教えられてテニスをしてきたことや、宇出津の港からラケットを振りながら出征して

いった話などを聞かされてきました。また不思議な縁を感じたのが、わたしが進学した法政大学のテニス部コーチが松本武雄という穴水町出身の人で、父親の小学校時代のライバルだったということなんです。

**Q 硬式に転向した理由は？**

**A** 両親共に軟式でしたから中学では軟式テニスをしていて東京都で3位くらいになりました。高校進学時に「硬式で強くなれば世界に行ける」と思い、強かった法政二高に入ることを決めたのです。今は4歳くらいで始めてジュニアでプロになる時代、15歳から始めてプロになった選手はほかにいないですね。

**Q 硬式と軟式の違いは？**

**A** グリップから何から全然違いました。だから第1球目から直されましたね。それで2年半でインターハイ優勝ですから、もう半端じゃないくらい練習しま

した。それくらいしないと全国制覇できませんから。その後大卒までの7年間、ずっと自分の青春はテニスコートの中で過ごし、そこで鍛えられましたね。

**Q テニスの町について**

**A** わたしの父親の時代から小学生に軟式テニスを教えていたこと、町民みんながテニスを楽しんできた文化があること、そしてこれだけの施設があるということはずいぶんいいことですね。町のPRをしていく中で「テニス」というものが大きな柱になると思います。

**Q エンジョイテニスについて**

**A** わたしたちプロは勝負の世界で生きてきて試合を楽しむというところは経験したことがないわけですけど、この大会は負けてもいい。負けたら悔しいですけど相手も同じ条件ですし、来てもらった人を楽しんでもらえればいいという大会。わたし自身

も毎年楽しみにしています。

**Q テニス資料の寄贈について**

**A** ここにテニス資料館があることは知っていました。担当の方から資料を寄贈してほしいという話があって、父の資料を故郷に飾ってもらえれば父も喜ぶだろうし、自分の資料も町に引き取ってもらえることはすごくうれしいことでした。能登出身の人間として、活躍したことが少しでも刺激になってもらえればと思っています。

**Q テニスのまじぶくりについて**

**A** わたしが協力できることとしては、前から話がありましたけど選手の育成に一役買いたいということがひとつ。そしてテニス



藤波緑地センター内に展示された神和住さん寄贈のテニス資料

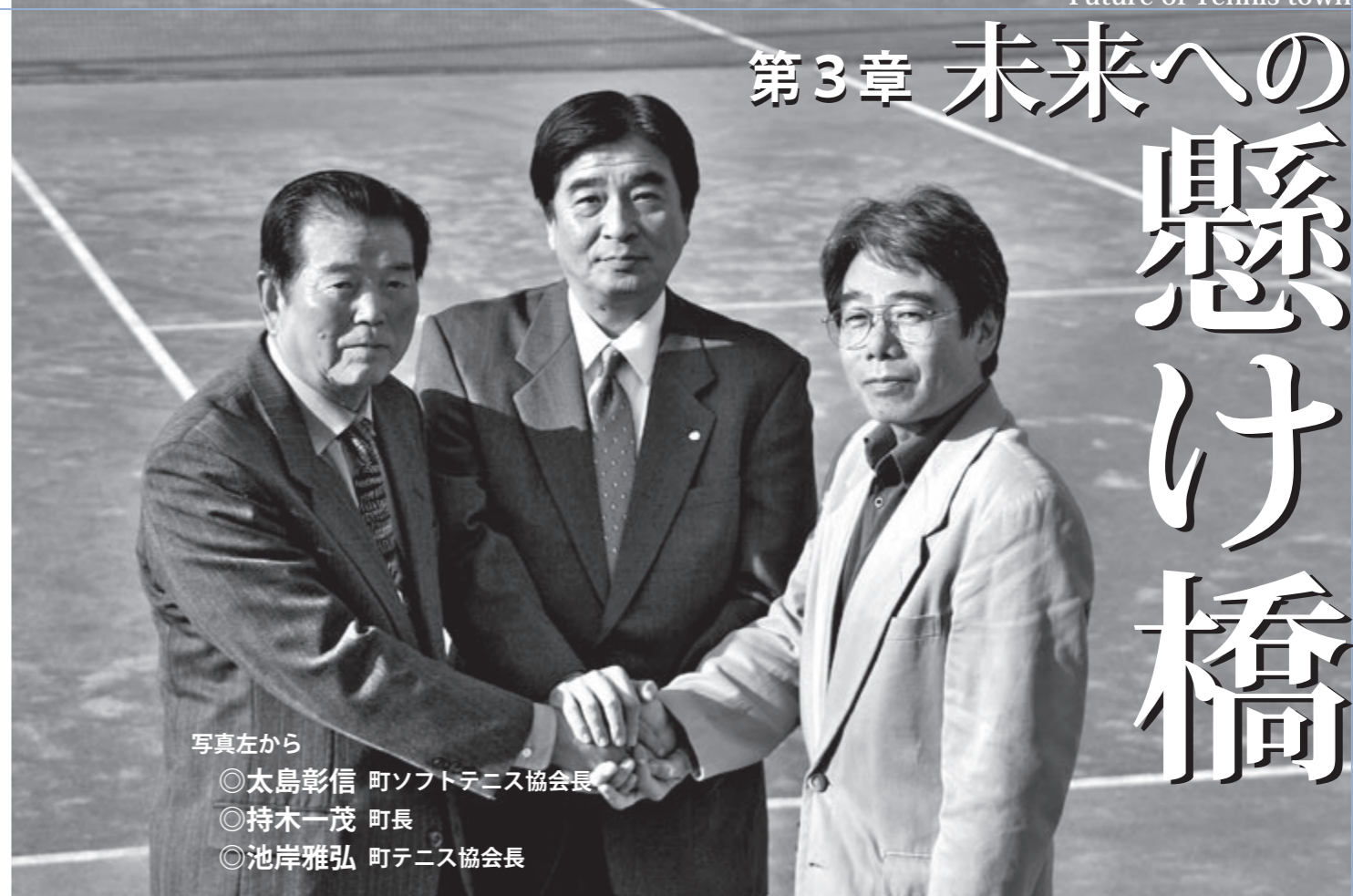
テニスの土壌があること  
すばらしい施設があること  
国際大会が開催できること  
すべて『誇り』に思っています。

## 【かみわづみ・じゅん】

高校で硬式テニスに転向し、インターハイ完全優勝、インカレ3連勝、全日本選手権3連勝を飾るなど日本のトッププレーヤーとして活躍。1973年に日本テニス史上初のプロ選手となる。世界4大会に出場し、当時世界1位のスタン・スミスを全仏・全米プロで2度破る。1986年に現役を引退、プロ・アマを含めた通算優勝回数は115回を数える。

現在は母校である法政大学教授を務める。東京在住、60歳。

# 第3章 未来への懸け橋



写真左から

- ◎太島彰信 町ソフトテニス協会長
- ◎持木一茂 町長
- ◎池岸雅弘 町テニス協会長

テニスのまちづくりには町とテニス関係者、そして住民の連携が欠かせない。今後の鍵を握る3人に、その思いを聞いた。

「能登町におけるソフトテニスの統や歴史については？」

**持木** ●旧能都町は、地元の選手が強かったこと、施設が整っていたこと、優れた指導者がいたことなどからソフトテニス盛んでした。そしてこの大切な資源を生かして町づくりが得意な人かという思いで、今まで取り組んできました。過疎化が進む現在の能登町で交流人口の拡大を考えた時、「テニス」で人を集めることが一番なのかなと思っています。良い伝統を受け継ぎながらこれからは「テニスのまちづくり」を推進していきたいと考えています。

**太島** ●旧能都町のソフトテニスの歴史はいつかの時代に分けて考えられます。まず創生期と呼べるテニスが町に伝わった時代、とにかくテニス面白くからみんなで親しんでやろうとクラブが誕生して、県下の小学生大会で活躍するようになったんです。そのルーツが井東さんであり、活躍した人が神和住さんたちでした。そして戦後、第2回石川県体をきっかけにソフトテニス復活しました。雨や雪が多い地理的不利の中、なんとか全国の壁を破りたいと指導

者たちが願い、そして昭和52年に中学生、昭和54年に高校生が念願の日本一を獲得してくれました。

昭和58年には当時全国的にもほとんどなかった16面コートが竣工し、インカレ、インターハイ、実業団、そして国体へと大きな大会を次々と誘致しました。昭和60年に「テニスの町宣言」をした町と協力しながら、なんとか町の活性化につなげたいの思いでした。しかし当時は町民のみなさんにも協力していただき、町を挙げて大会を運営していただく、子どもたちの指導面やテニスを楽しくむという普及面がおろそかになっていったという反省もあります。

現在は協会として、能登町全体を取り込んだ楽しむテニスの普及、そして自分たちの競技力の向上、少子化の中のジュニアの育成をしていかなければという目的意識にかられています。

**池岸** ●ソフトテニスに関しては、冬場でも練習できるように体育館も整備されていきましたし、今ではWAVEもあります。これは先人たちの努力と町や町民のみなさんの理解があったからだと思っています。

**太島** ●確かに能登町の子もたちは冬でもWAVEで練習できます。これだけの環境は県内には少ないし、優位性があると思います。

**持木一茂** 能登町長

【もちき・かずしげ】  
学生時代はサッカーに打ち込みソフトテニスの経験はない持木町長だが、2人の娘はソフトテニスの選手として活躍している。



**池岸** ●わたしがソフトテニスをやってきた中学時代は、小学校からクラブがありました。ほかの地域では中学からソフトテニスを始めることがほとんどでしたので、大会ではその差は歴然でソフトテニスに関しては本場に先進地だと思いました。

旧能都町の硬式テニスに関しては、ソフトテニスが一番盛んなところにクラブが立ち上がりました。瑞穂地区にナイターができるコートがあり、16面やWAVEもでき、テニス

をするという環境はソフトテニスのおかげで整備されていたと思います。選手面に関してもわたしを含めソフトテニスから転向した人間が半数以上います。きつちりと基礎ができていた人たちが入ってきているという状況です。神和住さんなどソフトテニスから硬式テニスに転向したプロもたくさんいますし、自分たちはソフトテニスの基礎があったおかげでスムーズにやってこれたのかなと思います。

**太島** ●これは硬式と軟式の発祥の違いが大きいと思います。ソフトテニスは日本人がゴムボール、軽いラケットを開発し、学校の先生たちが全国に広めていった経緯があります。硬式は地域ごとのクラブという形で広がっていったのです。

ソフトテニスは、学校の先生が運営する大会を開催してもらったりして、普及していったというのがありますが、最近は先生も広域化して昔のように地元の先生が地元の子どもを教えるということが難しくなりました。それがテニス人口が減っているひとつの原因になっていると思います。ソフトテニスだけでなく、アーチェリーやドッジボールなど能登町の特徴あるスポーツを作っていくために、理解があり指導者になりうる先生を赴任させてほしいと願っています。(次ページに続く)

日本唯一の「テニス博物館」という夢をもつて、これからもテニスの底辺拡大、大会誘致に努めていきたい。 —持木



石川県ソフトテニス連盟  
井上 清一 理事長 (鶴川出身)

昭和48年、宇出津高校卒業と同時に故郷を離れ、今思うことは育て励ましをもらった能登町への感謝です。現在は石川県ソフトテニス連盟の理事長として県内のソフトテニス発展のために活動していますが、周囲のみなさんの要請に応えることで自分自身を育て支えてくれたソフトテニスに恩返しをしたいとの思いからです。

振り返るとその思いは高校時代の山田良平先生との出会いからです。山田先生の「日本一を目指そう」という掛け声と厳しい指導で、北信越の頂点を極め、全国でも上位へと進出することができました。その指導の厳しさはもとより生活面、人間としての成長も教わり社会人となった今でも人生の大きな礎となっています。

母校である能都北辰高校は過去に山田先生指導の下、高校日本一の選手を輩出していますが近年全国での活躍は振るわず、わたしたちの応援のあり方も反省しています。もう一度日本一の選手が育つように、自分を育ててくれた故郷への思いを込めて精一杯の応援をしたいと思っています。

テニスの町能登町は、小学生・中学生が全国トップレベルとなっています。指導者や関係者のみなさんに感謝し、また誇りにも感じています。「小学校、中学校、高校、社会人すべての部門の日本一を能登町から」はそう遠くないと思っています。



Column ②

# 「テニスの聖地」を目指す千葉県白子町



千葉県白子町  
林 和雄 町長

雄大な太平洋に面した千葉県九十九里浜。その南部に位置する白子町は、人口13,000人余り、面積約27km<sup>2</sup>の農業と観光の小さな町です。農業は特産の玉ねぎや落花生に加えて、近年は温室栽培によるトマトやサラダ菜、ガーベラなどの栽培が盛んで県内一の規模を誇っています。

白子のテニスの歴史は、昭和52年の19面建設から始まりました。そして温暖な気候と平坦な地形を生かし、コートは10年近くで400面にまで増設され全国屈指のテニスリゾートとして知られるようになりました。その後は順風ばかりではなく、テニス人口の減少や景気低迷など難問が押し寄せ、サッカー場やグラウンドゴルフ場に衣替えしたものもあります。

しかし白子といえばやはりテニス。30年かけて習得した大会運営のノウハウが評価され、年間を通してさまざまな大会が開催されています。平成17年千葉きらめき総体のソフトテニス競技会場として成功を収め、平成22年の「ゆめ半島千葉国体」の開催も決定しました。また子どもたちのスポーツ拠点づくり推進事業として、毎年春休みに全国小学生ソフトテニス大会を開催し、強豪である能登町の選手や父兄のみなさんにも毎年のように白子に来ていただいています。白子町は「テニスの聖地」を目指して、地域を挙げて取り組んでいます。



太島彰信 町ソフトテニス協会長

【たじま・あきのぶ】 崎山  
元教員であり、昭和34年の瑞穂中学校赴任時から本格的にソフトテニスの指導にあたる。以後旧能都町の小中学校テニス部顧問を歴任し退職後も宇出津高校を10年間指導する。現在は松波中学校の外部コーチを務める。



池岸雅弘 町テニス協会長

【いげし・まさひろ】 宇出津  
能都中学校、飯田高校時代はソフトテニスの選手として活躍。東京から地元に戻り28歳で硬式テニスに転向。平成6年4月から町テニス協会長を務め、硬式テニスの強化・普及にあたる。

## 合宿所を整備してテニスのメッカに。能登空港を使って交流人口を拡大するこ

とができるかが大事。――太島

持木 ●北辰高校については県の方にお願  
いしたことがあって、今は米沢先生  
が来てくれています。

池岸 ●現実問題として、部活のために学  
校の先生を配置するということは難  
しいのではないかと思います。

持木 ●今は西さんや當目さんがいてくれ  
るからいいと思いますが、その次の  
指導者が問題になりますね。

池岸 ●そう考えると総合型スポーツクラ  
ブの指導者という考えが必要になる  
のではないのでしょうか。今後は指導  
者の養成ということも考えていか  
ないといけないと思います。

太島 ●わたしは指導者の養成も必要だと  
思います。学校の部活はやはり学  
校の指導者が中心になるべきで、外  
部コーチに頼り切りではないけないと  
思います。学校の先生には自分の信  
念で生徒を指導してほしいですね。  
「硬式テニスを含めた交流人口の拡  
大については？」

持木 ●ソフトテニスは今まで大きな大会  
を誘致してきました。硬式では大き  
な大会をやったことはなく、定期的  
に来てくれているのが関西薬学の硬  
式の大会ぐらいです。神和住純杯エ  
ンジョイテニスは人数は少ないです  
が県外からも来ているので、テニス  
を通じて能登町の良さを知っても  
らって、そして観光につながればと  
思っています。  
能登国際に関しては、石川県で初

波及する可能性もあります。

「これからの活動や目標は？」

太島 ●合宿の話が出ましたが、合宿の  
メッカとなるために廃校舎などを利  
用して合宿所を整備するというこ  
も考えられないでしょうか？

持木 ●もちろんそれも考えられますし、  
例えば今ある公共の宿泊施設を合宿  
所にするという案もあります。合宿  
がしやすくなれば、ピアツア（多  
目的芝生広場）もありますのでテニ  
スだけではなくほかのスポーツにも

太島 ●ソフトテニス協会の使命として、

プロとのつながりは財産になる。課題は自分たちのノウハウをいかに高めていけるか。今は基礎固めの時期だと思う。――池岸  
めての国際大会を今年開催しまし  
た。これが1回だけの大会ならば何  
の意味もなくなると思います。せめ  
て3回、4回開催して判断してもら  
いたいと考えています。来年以降の  
大会では、地元の人何らかの形で  
関わっていくことができれば町を挙  
げての大会にできると思うし、テニ  
スの底辺を広げることにもなりま  
す。そういう意味では続けることが  
大事なのかなと思っています。

池岸 ●交流人口に関しては、能登国際に  
しても神和住杯にしても、外から来  
た人がまず言うのは「海の見える環  
境のもとでテニスができるというこ  
とはそんなにあるものではない」と  
いうことです。せつかくすばらしい  
施設があっても、まだ稼働率が低い  
のではないのでしょうか。もっともつ  
と外の人に利用してもらわないとい  
けない。それをアピールするいい  
きっかけになったと思います。

太島 ●だから能登空港を使っていかに関  
東から呼び込むかが大事なんです。  
今はまだ合宿にしても関西の大学や  
高校が多いと思います。能登国際の  
ときに伊良子ダイレクターが「能登  
は空港があるから近い」と言ってい  
ました。もう少し関東へのアピール  
が必要なんじゃないでしょうか。そ  
して体験・観光・宿泊施設と総合的  
にメリットを打ち出せば、来て良  
かったとリピーターになりますよ。

池岸 ●ハードテニス協会は週2回内浦と藤  
波で初心者教室を開催しています。  
小学校低学年から70歳くらいの高齡  
者まで、楽しみながらやっています。  
こういう活動を続けながら生涯ス  
ポーツとして地域に定着させ、選手  
や指導者が出てくればと考えていま  
す。そのためにはまだまだ基礎固め  
の段階です。  
あとは出来上がったプロとのつな  
がりを生かして自分たちのノウハウ  
をいかに高められるかが課題だと思  
います。

持木 ●能登町も公社の職員が中心となっ  
て関西方面の学校へは合宿の誘致を

最近ではテニスを続ける若者も増え  
てきました。今こそ若い力を結集し  
て広域な普及と力強い躍進が必要な  
時期だと考えています。みんなで協  
力し合い、頑張っていきたいです。

持木 ●テニスに関してのわたしの夢は、  
表先生（神戸松蔭女子学院大学教授）  
や神和住さんから寄贈していただい  
た貴重な資料を生かして日本初の  
「テニス博物館」を作ることです。  
これからもテニスの底辺拡大  
と大会誘致を図りながら、テニスを  
通じて能登町の良さを全国にアピ  
ールしていきます。お二人には今後と  
もテニスのまちづくりにご協力をお  
願いします。

おはあちゃんへ  
ありがとう♡

自分のおばあちゃん家に泊りに来ためでたいで  
とても楽しかったです♡ ごちそうになった新築のお  
また食べたいです♡ また来年お世話になりにおま  
ありがとう ございました!! 前川綾香

1週間本当にありがとう  
ございました!! お返し  
超り多めにします♡  
来年試合があれば  
おばあちゃん家に泊りに  
来ますね! ありがとう  
ございました!! 夏美

今年1週間本当にありがとうございました  
お返しに泊りに来ていただき感謝  
良い環境で練習ができて子供も  
楽しかったです!! 来年は必ずお泊り  
させていただきます!! 田中

今年6月に開催された「能登国際女子オープンテニス」で宿泊した選手らが残したうちわ

# 第4章 テニスとの共生

能都健民テニスコート完成後、毎年のように全国規模の大会が開催され町は選手で溢れた。テニスで活性化を目指した町をコートの一番近くで支えてきたおばあちゃんの思い。

## 谷 スミ子 さん

【たに・すみこ】 藤波 昭和48年から健民テニスコートに一番近い場所で民宿を営み、試合に挑む選手たちを支えてきた。75歳。

じ。とにかく子どもたちに腹一杯食べさせてあげたい」とたくさんのご飯とおかずを並べるそうだ。そんな谷さんのこだわりが刺身。「海の側の民宿だからお客さんには刺身を食べてもらいたい」とのこと。しかし国体などの大きな大会では、選手の健康管理のために生ものは禁止されることも多い。

今年始めて開催された「能登国際女子オープンテニス」では、谷さんの民宿に選手や監督4人が素泊まりで宿泊した。「何も儲けなかったという人もいるけどわたしは素泊まりの方が楽。選手といろいろな話をして

テニスコートに続く70段の階段 この階段を上る選手たちをずっと見守ってきた。



全国から訪れる選手を温かく迎える 昭和58年、藤波台に16面のテニスコートが完成して以来、毎年のように全国規模の大会が開かれるようになった。数千人規模で来町する全国大会を開催するには、町、協会、そして選手

海側の民宿だから 活きた刺身を食べさせたい 谷さんの自慢は料理だという。特に名物料理があるわけではない。「特別なことは何もしていない。メニューもいつも同

本当に楽しかった」と振り返る。そして最終日には谷さんの気遣いで夕食を用意した。とても喜んでくれたという選手たちは、帰り際に「来年も大会があったら必ず来ます」といってプーケとメッセージを書いたうちわを谷さんに贈った。「上手言うたのかもしれんけど、気持ちがいい感じがした」と大事にしまっておいたうちわを眺めながら話してくれた。



パッチワークが趣味という谷さん。選手が泊まる部屋にも手作りの掛け軸などが飾られている

比べても今年は本場に少ない」という状況。それでも民宿をやめようと思つたことはないという。「民宿は家の中の仕事なので年寄り一人でも何とかできる。何よりお客さんと話をする

地元の子どもたちも、テニスコートに上がるときには民宿横の階段を駆け上がる。「がんばれ!」と声をかける谷さんに元気があいつつする子どもたち。子どもが大好きな谷さんにとつて大切な日常的一幕だ。

今年6月に開催された「能登国際女子オープンテニス」で宿泊した選手らが残したうちわ

を受け入れる宿泊施設の連携、協力が不可欠だ。平成3年の国体の時には、町内の旅館、民宿が統一メニューをベースに郷土料理の味や盛り付けに工夫を凝らしたという。谷さんの民宿にも国体前からたくさんのお客さんが来るようになった。「昔は入りきれないくらいたくさんの方が来た。遠いところから来る人には、精一杯のことをしてあげたいと思つている」という谷さん。その人柄から親子2代で指名される場合や、今でも近くに来ると寄つてくれるお客さんもいるという。「何も気が張らない人間やし、子どもたちや先生からも『おばちゃん、おばちゃん』って慕つてもらつた」と笑う。



**【やまだ・りょうへい】**  
師範学校卒業後東京都で教員となるが太平洋戦争に出征、戦後地元に戻りソフトテニスの指導に情熱を傾けた。昭和45年から宇出津高校専属コーチとなり、同校を全国レベルに押し上げ54年に日本一に。全日本小学生大会やインターハイ誘致の先頭に立つなど、町ソフトテニスの発展に生涯を捧げた。昭和60年死去、享年64歳。

# テニス 列伝Ⅲ 山田 良平

Yamada Ryouhei  
(1920 ~ 1985)

**「俺** はこれでいつ死んでもいい」。昭和54年8月、滋賀県長浜市で行われたインターハイソフトテニス競技の閉会式終了後、山田良平先生はこうもらしたという。「能登から真の日本一の軟式選手を育てたい」と夢見て、宇出津高校専属コーチとして指導してきた山田先生10年目の悲願達成だった。

山田先生は大正9年旧鶴川町で生まれ、東京の豊島師範学校（現東京学芸大学）に進学した。在学中はテニスに熱中し、東日本大会をはじめ多くの大会で優勝したが全国大会での優勝はできなかったという。戦後、故郷に戻り中学校の教員となるが体調を崩し退職。書

籍・スポーツ用品店を営みながら地元中学校を指導した。昭和45年、依頼を受けて宇出津高校の専属コーチとなった山田先生は「日本一」という目標を掲げ「鬼の山田」となる。地元中学校からも才能ある選手が集まり、以後16年の間に石川県高校選手権男子団体10連覇、女子6連覇など宇出津高校の黄金時代を築き上げた。山田先生は「テニスは人づくりの道具」といい、テニスを通じた人間づくりを目標とした。厳しい練習はテニス部員の忍耐力や精神力を養い、また事あるごとに「テニスバカになるな」と勉強にも力を入れた。生徒たちは高校卒業後も大学、実業団で全国や石川県の中枢選手

として活躍した。昭和58年完成の健民コートは山田先生の「能登でインターハイを」という願いの結晶だった。大会誘致の先頭に立ってきた山田先生だったが、大会の半年前に肺ガンのためその生涯を閉じた。インターハイで宇出津高校ソフトテニス部が、山田先生の遺影を掲げ奮闘したことは今も語り草となっている。インターハイ終了後、山田先生を顕彰しようと多くの寄付が集まり、16面のコートサイドに銅像が建立された。『目標を掲げ努力すれば必ず夢はかなう』。山田先生は今でも、健民コートで日本一を目指す選手たちとソフトテニスの未来を見守っている。



昭和54年、インターハイで優勝し念願の日本一となった列崎満選手(左)・石田茂樹選手と握手を交わす山田先生



高峰 博保 さん

【たかみね・ひろやす】

(株)グルーヴィ、プランニングディレクター。企業の経営戦略、ショップ開発、商品開発などに携わりながら、自治体の長期計画立案やグリーンツーリズム構想、まちづくりに企画面で参画する。

再考から再興へ

## 交流人口は この町に何を もたらすか？

合宿、大会、応援など、テニスが目的で能登町を訪れる交流人口は年間約3万人と試算されている。その経済波及効果について町づくりの専門家に聞いた。



ベントや大会での経済波及効果を考えた場合、まず「誰が来るか」ということがポイントになります。大人と学生では使うお金に当然違いが出てきます。ただ子どもの場合は親が付いてくることもあるので、プラスアルファの効果が期待できると思います。つまり同じスポーツ大会でもどういう人を誘致するかということを経営的に考えていく必要があるのです。

それでは中高生はお金を使わないからダメかというわけではなく、中高生は親が付いてきていない分、民宿の人や地元の人との交流が期待できます。大会や合宿で長く宿泊すればするほど人間関係が濃くなります。そうすれば大きくなったときに懐かしがって家族を連れてきてくれる可能性もあります。経済効果としての即効性はないけれども長期的に見たときにリピートしてくれるということがあると思います。

これは地域のファンを作るということです。そうすれば何か事があったときに能登の物を利用しようとか、能登の物を優先的に買ってくれたりとか、今回のような震災のときに応援して

くれるといった、いろいろなつながりが広がっていく可能性があります。

### 大会は地域を知ってもらう絶好の機会

ほかによく言われていることが「アフター」の話です。大会があつて試合が終わつてすぐ帰るといふパターンと、せっかくなので来たんだからもう1泊して能登をゆっくり観光してから帰るといふパターンが考えられます。特に遠方から来たお客さんはそういうプラスアルファの行動を取りやすいのです。

そのためには提案が必要で、例えば大会パンフに観光スポットや観光ルートの印刷物を同封したり、博物館の割引券を入れたりなどが考えられます。初めからオプショナルツアーとして大会に組み込む場合もあります。いろいろなテーマで能登を巡るなど、そこに魅力があれば参加してもらえ可能性は十分あると思います。

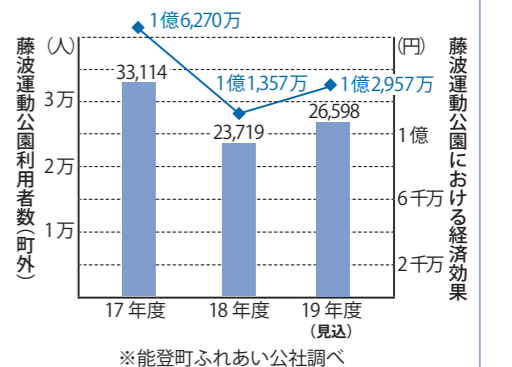
大会開催にともなう準備や運営だけでも大変かもしれませんが、この機会に地域のことをよく知っていたらこうという姿勢でフォローできればと思います。能登の情報を多面的に提供

できれば、お客さんにとつても、地域にとつてもプラスになるのではないのでしょうか。

### テニスと地域の魅力が いかにつながるか

商工会や観光協会とタイアップして詳しい情報、お土産であれば作り手の顔が見えるような情報が提供できる印刷物を作つて配布すれば、必ず売り上げは上がります。お客さんと交流する宿泊施設の人にもちゃんと理解してもらつて情報提供してもらえれば、それがつながっていくと思います。

テニスによる経済波及効果をより拡大するためには、テニスと地域の魅力をいかにつなげるかが重要なのです。



山田先生は、  
藤波台地からテニスの未来を  
見守り続けている。

## 取材を終えて

「テニス特集」企画は、1冊の資料と  
の出会いから始まった。旧能都町が平成10年に発行した「能都町ソフトテニスの歴史」。この資料には明治から大正、昭和、そして平成へと先人たちがソフトテニスを普及・発展させようと汗と涙で築きあげた90年の歴史が刻まれていた。「これはぜひ特集として住民のみなさんに伝えたい」と強く思い、特集の企画書を作った。ソフトテニスの歴史、先人たちの思い、全国トップレベルを保持している子どもたち、町の活性化、企画はどんどんふくらんでいった。

## テ

ニス人口は減少し続けている。宇出津小学校でテニスをやる児童が1人、鶉川小学校でも低学年になるほど人数は少ないという状況だ。このままでは数年後にこの町から「テニスの灯」が消えるかもしれない。完全に消えてからは遅い。今ここで、もう一度テニスについて考えてもらうきっかけになればと願いながら取材、編集をした。

## も

う一つ、「テニス特集」をやるうと思っただけが今年県内で初めて開催されたテニスの国際大会「能登国際女子オープンテニス」。どんなスポーツでもプロのアスリートの真剣勝負は見ていて本当におもしろい。高い技術、勝利への執念、試合の緊迫感はテレビではなく、直に見ることで感じる事ができる。そういうチャンスがこの町にあるということをもっと知っ

てもらいたい。テニスに興味はなくても、このめったにない機会を生かして、自分の目で確かめてほしい。そして自分たちの町に国際大会を開催できる施設とノウハウがあることを誇りに思ってもらいたい。

## 新

しいテニスのまちづくりは行政やテニス関係者だけではできない。高峰さんが話したとおり、今後さらなる交流人口の拡大を目指すためにはテニスと町の魅力をつなげなければならぬ。そのためにはテニスをまちづくりにどう生かすかということとを、行政、テニス関係者、宿泊施設、観光協会、商工会、そしてこの町に住むわたしたちが共に考え、知恵を出し合うことが必要になる。

まずはテニスについて知ってほしい。そして大きな大会があればテニスコートに足を運び、一生懸命頑張っている地元の子どもたちを応援してほしい。「ゲームカウント、ラブオール(0対0)」。

新しいテニスのまちづくりを今から始めよう。  
【特集・百年目のラブオール(完)】

# 新しいテニスのまちの 始まりを告げる 百年目の 「LØVE ALL」

【参考資料】  
能都町ソフトテニスの歴史、石川県ソフトテニス連盟 50 年誌、  
能都町明治百年記念写真集、能都町史、太島彰信氏資料、  
馬渡武久氏資料、武淵一男氏資料、能登町ふれあい公社資料

第2回 能登町顕彰条例表彰受賞

三宅 セツ子 さん (67歳・小木)

障害を抱えながら

わたしは3歳のときに小児マヒで両足が動かなくなりまし  
た。小学1年生から4年生まで  
は4歳年上の姉におんぶされて  
学校に通い、5年生からは友だ  
ちにかばんを持ってもらい松葉  
杖で通いました。子どものころ  
は父親が「お前が心配や、心配  
や」といつも言っていたので、  
わたしも「どうやって生きてい  
けばいいのか」「どうやってお  
金を稼げばいいのか」不安に  
思っていました。でも幸せなこ  
とに障害年金をもらうことがで  
きました。今ではわたしの唯一  
の収入、障害年金がなかったら  
生きていけなかったです。

社会に貢献したい

障害年金をもらうようになっ  
て、わたしは社会に貢献したい  
と強く思うようになりました。  
そしてわたしの時間を提供して  
少しでも返したいと思ってボラ  
ンティアを始めました。身体障  
害者団体連合会や食生活改善推  
進員、日本赤十字の会員などの  
活動を通して、少しでも人の役  
に立てるように仲間の送り迎え

をしたり、一緒に会合に出席し  
たりと走り回っていました。

わたしは27歳のとき、身障者  
として石川県で第1号の運転免  
許を取得しました。障害者の  
コースを新設した金沢の自動車  
学校にすぐに申し込み、絶対免  
許を取って帰ると学校の寮に泊  
まり込んで勉強しました。当時  
は自家用車というものがほとん  
どない時代でしたが、歩けない  
わたしにはどうしても車が必要  
だと思ったのです。車の運転が  
出来るようになって、わたしの良  
き世界が広がりました。

泳ぐことができる

28歳のとき33歳年上の夫と結  
婚し翌年長男が生まれました。  
31歳からは夫と一緒に旅館を営  
みながら、夫婦で海外旅行に  
いったりとそれなりに楽しい人  
生を送っていました。昔はイカ  
釣り船の乗組員のお客が多く、  
家庭料理が好まれたということ  
もありましたが、今思えばこの  
体でよくやったと思います。  
長男は16歳で交通事故で亡く  
なり、夫はわたしが57歳のとき  
に90歳で亡くなりました。その  
後はわたしが子どものときから

やっていた唯一のスポーツであ  
る「水泳」の大会に出るよう  
になりました。平成11年の「ハ  
トフルくまもと大会」で当時の  
新記録で優勝して金メダルを2  
個もらいました。水泳は今でも  
続けています。週に3回は七見  
の「なごみ」に通って1時間は  
ずっと泳いでいます。また小学  
校の手作り教室の講師として、  
現在は月に2回、リサイクルで  
物を作ることを子どもたちに教  
えています。

ボランティアは  
わたしのエネルギー

今回の顕彰については、最初  
なぜわたしかと思いましたが、  
今までやってきたことが認めら  
れたのかなとも思っています。  
わたしはボランティアが本当に  
好きなんです。人の役に立つこ  
とがわたしのエネルギーになる  
んです。

わたしの学校の先生は「天は  
二物を与えず」という言葉を  
贈ってくれました。「体が不自  
由でもあなたには素直な心があ  
る。その心を大切に生きてほし  
い」と言ってくれました。  
わたしは今、本当に幸せです。  
これからも生き生きと生活して  
いきたいと思っています。

プロフィール：昭和52年から  
内浦町身体障害者団体連合会副  
会長、平成9年から会長を務め  
る。現在は身体障害者相談員、  
能登町身体障害者団体連合会副  
会長などを務め、地域の社会福  
祉向上に貢献。

写真右：11月3日に行われた  
式典で表彰式で表彰状を受け取  
る三宅さん

写真左：支えてくれた姉と友人  
2人を交えて記念撮影



人のために生きることが、  
自分のエネルギーになる。



# 褒章叙勲

**栄** 典とは、国家や社会への長年の功労あるいは社会の各分野における優れた行いに対して国家が個人を顕彰する制度で、褒章と勲章があります。

11月3日付けで発表された「秋の褒章と叙勲」では、その功績に対し能登町から4人が選ばれました。

滝義雄さんに『藍綬褒章』、青木豊治さんと炭谷昭平さんに『旭日双光章』、井上美代次さんに『瑞宝単光章』が伝達され、栄えある受章となりました。都内での伝達式と皇居宮中で、の拝謁にはそれぞれが出席し、受章の喜びを新たにしました。

藍綬褒章

滝義雄さん



旭日双光章

青木豊治さん



旭日双光章

炭谷昭平さん



瑞宝単光章

井上美代次さん



「大切なのは思いやりの運転と規則をしっかり守ること」と話す元県交通安全協会理事の滝義雄さん（布浦・78歳）。防犯委員としても活躍し、地域の小学生を対象に交通安全教室を開くなど交通徳の普及に寄与しました。

旧柳田村議会議長を務めるなど、昭和54年から平成18年までの長きにわたり地域発展のために尽力した青木豊治さん（神和住・74歳）。「今後も一町民としてできることで町に貢献していきたい」と感謝の言葉を述べました。

旧能都町議会議員として昭和55年の当選以来、町の産業、教育、文化の向上に手腕を発揮した炭谷昭平さん（鶴川・72歳）。平成18年まで在職し、その間議会議長を務めるなど、地方自治の発展に貢献しました。

昭和45年から35年もの間、消防団員として、また旧内浦町消防団長としての任務を遂行した井上美代次さん（清真・72歳）。「地域のみなさんの支えがあつてこそその受章だと心から感謝しています」と受章の喜びを語りました。

# 表彰受賞

10月から11月にかけて、さまざまな分野における功績が認められた個人や団体に対して大臣表彰をはじめとして栄誉ある賞が数多く授与されました。

不動寺公民館と宇出津小学校に文部科学大臣表彰、数馬嘉雄さん（のと食品衛生協会会長）、木田紀子さん（第二長寿園施設長）には厚生労働大臣表彰がそれぞれ授与されました。

また平成19年度の石川県統計功労者表彰では水野勉さんが石川県知事表彰を受賞し、ほか7人が石川県統計協会会長表彰に輝きました。各賞を受けられたみなさん、おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待します。

文部科学大臣表彰・優良公民館表彰  
不動寺公民館



地域に支えられ、伝統を守りながら常に新しいものを創り出すなど多彩な活動を積極的に進めてきた不動寺公民館。吉村安弘館長は「今後も公民館の歴史を守っていきたい」と今後の抱負について語りました。

文部科学大臣表彰・学校安全表彰  
宇出津小学校



学校安全の普及と向上に努め、子どもたちが安心して学べる学校づくりに励んでいる宇出津小学校。喜多文男校長は持木町長に受賞の喜びを伝えると共に「今後は危険予測学習も進めていきたい」と報告しました。

厚生労働大臣表彰・食品衛生功労者  
のと食品衛生協会会長

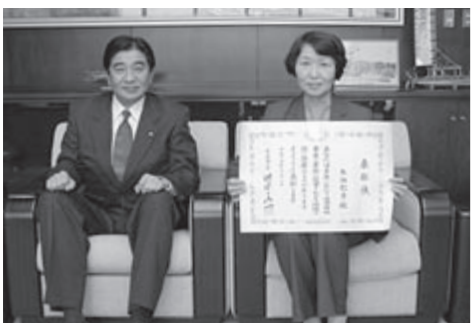
数馬嘉雄さん



食の安全・安心を守るため、長きにわたり食品衛生行政に協力するなど、その功績が認められての受賞となりました。また同協会食品衛生指導員の山岸浩嘉さん（柳田）が日本食品衛生協会理事長表彰を受けました。

厚生労働大臣表彰・社会福祉事業従事者  
第二長寿園施設長

木田紀子さん



「職員を代表して受賞したものだと思っています」と話した木田さん。昭和59年、長寿会発足時から栄養士として勤務し、生活相談員などを歴任するなど24年間にわたり福祉分野に貢献しました。

石川県統計功労者表彰



平成19年度の県統計功労者表彰式が11月12日に県庁で行われ、町内から8人が受賞しました。

〈県知事表彰〉

水野 勉さん（黒川）【写真右】

〈県統計協会会長表彰〉

河村喜久子さん（宇出津）

川原 章二さん（宇出津）

新名恵美子さん（清真）

濱野 孝子さん（小木）

大坪 照子さん（立壁）

上野 英子さん（越坂）

神田美佐子さん（内浦長尾）

灯台記念日感謝状授与式



灯台記念日の11月1日、海上保安庁の業務に協力した個人、団体に感謝状が贈られました。

〈個人〉橋谷 武さん（立壁）

〈団体〉県漁業協同組合内浦支所

美味しい魚を育てる森づくり  
**元気な山は美しい海を生む**

10月27日、猪平地内で能都北辰高校海洋科の生徒や商工会、森林組合など関係者60人が、ケヤキの植樹を行いました。

この事業は、川や海を浄化し優れた保水力を持つ森づくりを促進しようと5年前に始まりました。小雨の交じる中、苗の植え方の説明を受けた参加者はくわを手に用意された200本の苗を丁寧に植えていきました。緑を増やすことは地球温暖化防止対策という面でも大きな意味を持ちます。海と関わりを持つ海洋科の生徒たちは「植樹がいかにか海にとって大切かを学びました」と話し作業に汗を流していました。



慣れない作業ながらも懸命に取り組む生徒

関本会長から賞状と記念品を受け取る児童たち



「人権の花運動」感謝状贈呈式  
**花と一緒に育てる優しい心**

「人権の花運動」に取り組んだ宇出津小学校への感謝状贈呈式が10月30日、同校体育館で行われました。児童たちは町の人権擁護委員から昨年贈られたマリーゴールドなどを心を込めて育ててきました。この運動は2年間にわたって行われ、児童たちが協力して花を育てることで、豊かな情操を育むことを目的としています。輪島人権擁護委員協議会能登支部の関本昌夫会長から賞状と記念品が贈られると、児童を代表して6年生の水元佑哉くんが「花に負けないようにみんなで仲良く助け合いたいと思います」と今後の目標について述べました。

塗り箸で豆をつまんで器に入れる「まめまめレース」



鳳珠郡老人クラブスポーツ大会  
**健康には運動が一番**

高齢者の健康維持や会員同士の親睦を深めようと毎年開催されている鳳珠郡老人クラブスポーツ大会。今年は10月24日に柳田体育館を会場に行われ、能都・柳田・内浦・穴水支部の会員約250人が参加しました。

開会式では町社会福祉協議会会長を務める持木町長が「健康づくりに有意義な大会です。けがのないようご注意ください」と開会の言葉を述べました。大会はお年寄りでも楽しめる趣向を凝らした種目が用意され、参加者は和気あいあいと競技を楽しんでいました。

寺田川ダム竣工式  
**12年の時を経てついに完成**



組倉地内の寺田川上流で平成8年度に着工した寺田川ダムがこのほど完成し、10月23日に竣工式が行われました。このダムは農業用水と上水道水の確保を目的に建設されたもので、12年から本格的な工事に取りかかり昨年10月から試験湛水を始めました。

建設計画敷地内に生息していた絶滅危惧種のホクリクオオサンショウウオをダム上流の湿地に移すなど、

環境にも配慮しながら工事が進められてきたダム建設。上水道への供給は今年4月より開始されており、農業用水は今年度中にパイプラインなどを整備し、来年4月から供給開始することになっています。

【写真：神野保育所の園児も一緒にくす玉を開き完成を祝いました】

久田船長碑前祭  
**105年前の勇姿を偲んで**

10月29日、久田佐助船長碑前祭が鶴川菅原神社境内で行われ、関係者や地域住民、鶴川小中学校の児童生徒ら約100人が参加しました。久田船長は、明治36年青函連絡船の事故の際、乗客や船員らを守るため沈む行く船に残り、救助を求める汽笛を鳴らし続け殉職しました。地元顕彰会が毎年その命日に営むこの碑前祭は今年で105回目を数えました。

碑前祭では、久田船長の勇気ある行動を讃えようと鶴川小中学校の代表2人が国定教科書を朗読し、参列者全員で唱歌を合唱しました。



鶴川公民館の壁には船長を描いた6畳風が飾られていました

能登町民文化祭  
**文化と芸術が薫る秋の能登町**

▶1年間練習してきた成果を発揮して、すばらしい舞台を演出した出演者

▼芸術部門の会場となった柳田体育館



第3回能登町民文化祭は11月3日、4日の日程で柳田地区を会場に開催されました。柳田山村開発センターと柳田体育館では文化協会員ら約400人の芸術作品が展示され、陶芸や生け花、絵画などが訪れた人の目を楽しませました。

4日には柳田小学校体育館で芸能発表が行われました。町文化協会の高木泰憲会長が「出演者が365日磨き上げた努力の成果をご覧ください」とあいさつし、ステージでは舞踊やコーラス、大正琴などが次々と披露され観客を魅了しました。また小学校内の和室に設けられたお茶席は、文化祭を見に来た人の休憩の場として利用されその雰囲気を楽しむ人で賑わいました。

小木小学校 1日消防士体験  
いざというとき役に立つ!

災害は忘れたころにやってきます。11月9日、火災の恐ろしさと消防士の仕事について学ぼうと小木小学校で避難訓練と1日消防士体験が行われました。

これは小木分団・内浦分署の協力で開かれたもので、児童たちはバケツリレーや消火器を使った消火訓練などを体験しました。火事現場の煙の様子を疑似体験できる煙体験ハウスも用意され、児童たちは煙の怖さを再認識したようです。最後は消防ポンプ車に乗って町を見回り、町と大切な命を守る重要な仕事について理解を深めていました。



本物の消防士さながら! 防火衣を着ての放水体験

拍子木を手にハッピー姿の園児が町内を歩きました



松波保育園防火パレード  
マッチ1本火事のもと

秋季全国火災予防運動に合わせ、松波保育園の園児たちが11月9日に松波地内で防火パレードを行いました。地域のみなさんの防火意識を高めてもらおうと、鼓笛隊を先頭に子どもたちが保育園前を元気に出発しました。沿道には、その姿を一目見ようとたくさんの方が集まり声援を送っていました。

空気が乾燥し火災の発生しやすいこの時期に、地域のみなさんに今一度火の扱いについて気を引き締めてもらいたいと毎年行われているこのパレード。14日には小木保育園の園児たちも小木地内で火の用心を呼びかけ防火運動に一役買いました。

会員の中興七郎さんが施設内について説明



松波城址情報館が開館  
プチ・ミュージアムの郷

奥能登トリア蔵「松波城址情報館」の開館式が11月12日に開かれました。これは「民有『歴史文化』資産の保存活用を考える会」が奥能登の魅力を全国に発信しようと、町内に小さな博物館の郷を作る事業の一環として設置されたもので、この日4館目の開館となりました。

旧松波駅の駅舎を再利用して整備された情報館内には、松波城址公園周辺の立体地図模型や島山氏のルーツを解説したパネルなどが展示されています。金七 修会長は「この情報館が町おこしの始発駅となることを願います」と期待を寄せました。

羽根万象先生を偲ぶ会  
絵画への情熱は未だ消えず



今年8月8日に逝去された、画家で能登町名誉町民の羽根万象先生を偲ぶ会が11月17日に羽根万象美術館で行われ、会場には遺族や関係者ら約100人が参列して先生のご冥福を祈りました。

日本を代表する日展画家として活躍し、生まれ故郷である旧能登町の小中学生を対象にした絵画コンクール「羽根万象賞」を24年間主宰するなど、子どもた

ちに夢を与え続けてくれました。平成16年に羽根万象賞を受賞した鳥越陽太さん(鶴川中学校1年)は「この賞をいただき絵を描く楽しみを覚えました。天国からわたしたちが楽しむ姿を見守ってください」とお別れの言葉を告げました。

【写真:先生との思い出を振り返り式辞を述べる持木町長】

町学校教育研究会「音楽の集い」  
音と心をひとつにする時間

音楽を通して親睦を深める「音楽の集い」が11月13日に能都庁舎で開かれ、町内の中学1年生183人が参加しました。生徒たちは3パートに分かれ、アルトリコーダーで「星の世界」を合奏したあと、全員で2曲を合唱し素敵なハーモニーを会場に響かせました。

鑑賞の時間では武蔵野音楽大学をこの春卒業した吉田智美さんの独唱が披露されました。ピアノ調律士の高口緑さんの演奏に乗せた清々しい歌声に、会場に訪れた保護者も熱心に耳を傾けていました。

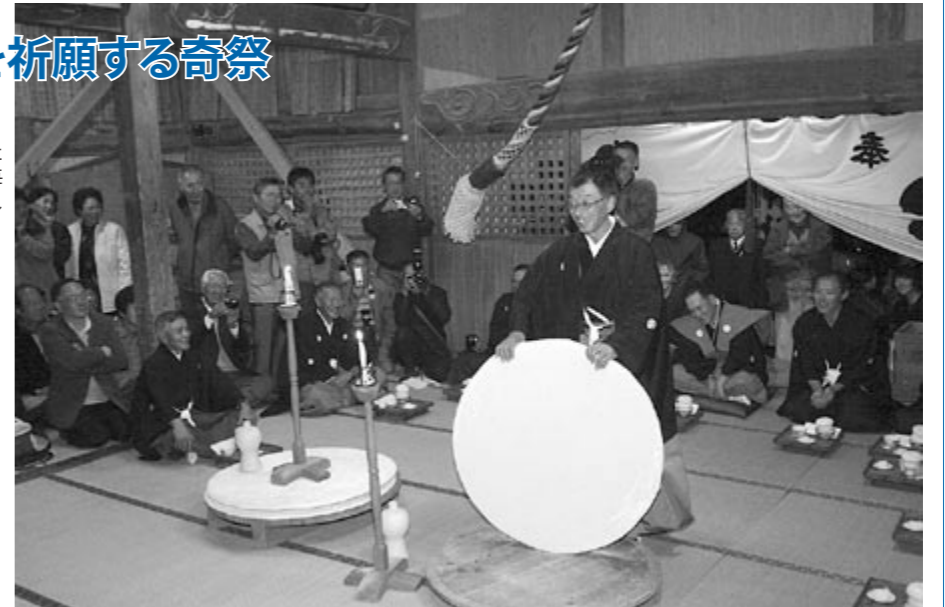


何オクターブの声が出るのか実際に挑戦!

鶴川・いどり祭り  
餅をけなし、豊作を祈願する奇祭

▶テレビ局や県外からも訪れていたカメラマン、そして地元住民など毎年たくさんの方が「いどり」を楽しみにしている

▼最後は3度にわたりお神酒が出される



鶴川菅原神社の秋祭り「いどり祭り」は11月7日に行われました。奇祭として知られるこのいどり祭り。正式には八講祭と呼ばれ11月1日から8日に行われる新嘗祭のひとつで、餅をいどる(けなす)ことにより来年の豊作を祈願するものです。

主賓である傳兵衛役は子孫の広田謙次郎さんが務め、当番が8回迎えに向きます。傳兵衛が神社に到着し神事が終わると、まずは小餅が御膳に運ばれます。小餅をいどったあとは、いよいよ当番が作った直径1.2mの大きな餅をいどり合います。「反り上がっている」「地震もあったが、餅もひびだらけだ」などいどり合い、最後は神主が仲裁に入りこの場を納めました。



## 能登町役場各課直通電話番号一覧 【代表番号☎62-1000】

能登庁舎：総務課☎62-8510／企画財政課☎62-8503／税務課☎62-8505／収納対策室☎62-8506／環境対策課☎62-8507／会計課☎62-8509  
 監理課☎62-8504／農林水産課水産分室☎62-8508／能都サービス室☎62-8500  
 内浦庁舎：健康福祉課(児童保育)☎72-2512／(医療介護)☎72-2502／(福祉庶務)☎72-2503／(健康推進)☎72-2504／(包括支援)☎72-2513  
 商工観光課☎72-2505／海洋深層水対策室☎72-2506／学校教育課☎72-2509／生涯学習課☎72-2510／水道課☎72-2508  
 下水道課☎72-2507／町民課☎72-2501／内浦サービス室☎72-2500  
 柳田庁舎：農林水産課☎76-8302／農業委員会☎76-8303／建設課☎76-8304／広報情報推進課☎76-8301／柳田サービス室☎76-8300  
 議会庁舎：議会事務局☎76-8310

## お知らせ

### 農業委員会委員選挙人名簿登載

該当する人は1月10日(木)までに登載申請書を各町内会長、または農業委員会まで提出してください。各庁舎サービス室でも受け付けています。

☎農業委員会☎ 76-8303

### 贈らず・求めず・受け取らない

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは法律で禁止されています。また有権者が求めることも禁止されています。

〈例〉お歳暮、年賀状、入学祝、卒業祝、病気見舞い、葬式の花輪・供花、落成式・開店祝の花輪、お祭りへの寄付や差し入れ、町内会の集いや旅行など催し物への寸志や飲食物の差し入れ、秘書などが代理で出席する場合の結婚祝・葬式の香典など

☎町選挙管理委員会☎ 62-8510

### 大規模土地取引は届け出が必要

一定面積以上(都市計画区域は5千㎡以上・それ以外の区域は1万㎡以上)の大規模な土地取引は、国土計画利用法に基づき売買契約後2週間以内の届け出が必要。忘れずに届け出をしましょう。

☎企画財政課☎ 62-8503

### 平成19年工業統計調査を実施

12月31日現在で実施します。12月から1月にかけて調査員が伺いますのでご協力をお願いします。なお、本

年より調査項目が一部改正されます。

☎企画財政課 統計係☎ 62-8503

### しらさぎ橋は当面通行止めです

遠島山公園内のつり橋「しらさぎ橋」は老朽化により危険なため当面の間通行止めとなります。ご理解ください。

☎商工観光課☎ 72-2505

### 臓器移植に理解をお願いします

意思表示カードを携帯することで臓器移植に対するあなたの意思を示すことができます。カードは役場、郵便局、運転免許試験場、コンビニエンスストアなどにあります。

☎日本臓器移植ネットワーク☎ 0120-78-1069

### 骨髄バンクに登録してください

白血病などの血液難病は骨髄移植により健康が取り戻せます。ドナー登録30万人で、ほとんどの患者にドナー候補者がみつかります。骨髄ドナー登録にご協力をお願いします。

■登録できる人：18歳から54歳までの健康な人(実際の提供は20歳からで家族の同意が必要)

☎財団法人骨髄移植推進財団☎ 0120-445-445

## 募 集

### 町臨時職員募集(看護補助員)

〈募集職種〉臨時職員2人(看護補助員)  
 〈勤務場所〉公立宇出津総合病院

〈受付期限〉12月10日(月)まで  
 〈勤務形態〉変則勤務で週休2日制(日額5,900円)

〈応募資格〉能登町に住所があり、高校卒業程度で健康な人。

〈選考期日〉12月14日(金)15:00～  
 〈申し込み〉ハローワークのと、能登・柳田・内浦各サービス室、宇出津総合病院にある申込書に履歴書を添えて総務課に提出してください。

☎総務課☎ 62-8510

ハローワークのと☎ 62-1242

### 町営住宅の入居者を募集します

〈募集期間〉12月3日(月)～17日(月)  
 〈対象住宅〉

- ①鶴川駅前団地 3DK1戸(七見)
- ②わすみ団地 3LDK1戸(上町)
- ③桜木住宅 3DK1戸(鶴川)

〈家賃〉①月額45,000円、②月額35,000円、③所得により決定

〈入居資格〉

- ・能登町に住所を有する人(予定者も含む)
  - ・住宅に困窮している人
  - ・町税などの滞納がない人
  - ・収入基準：①②は所得月額が20万円以上、③は20万円未満
- ※単身の方はご遠慮いただくことがあります。

☎建設課☎ 76-8304

## 講 座・講 習

### 里山マイスター養成プログラム

平成20年度を受講生(2期生)を募集します。この講習はグリーンツーリズム型観光の拠点を作り出す地域リーダーを養成します。

### 【今月の納税】

固定資産(都市計画)税 第3期  
 国民健康保険税 第6期

納期限：12月25日(火)

〈募集人数〉15人程度(受講料無料)  
 〈受講資格〉農業に関心を持ち新ビジネスを希望する40歳代前後の人。

〈受講場所〉能登空港ターミナルビル・養成プログラム能登学舎(珠洲市)

〈受講期間〉平成20年4月から22年3月の隔週金曜日と毎週土曜日

〈申し込み〉履歴書と志望動機を(1,000字程度)下記まで郵送 ※1次選考：書類審査 2次選考：面接

〈応募期間〉平成20年1月7日(月)～2月29日(金)消印有効

☎〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学社会貢献室「能登里山マイスター」養成プログラム受講生募集係 ☎076-264-6698

### 地域づくり支援講座は参加無料

〈場所〉能登空港ターミナルビル

〈時間〉18:20～19:50

〈内容〉地域ビジネス連続講座 7日(金)「能登で起業するということ」講師：高峰博保(株)グルーヴィイ)

14日(金)「能登で葉っぱビジネスを始めるとしたら」講師：記州陽子(㈱花とも) ※参加無料で申し込み不要

☎金沢大学社会貢献室☎ 076-264-6698

### 住宅用火災警報器説明会を実施

平成20年5月31日までに全ての住宅において住宅用火災警報器の設置が義務付けられます。町内会や団体などで説明会を希望する場合は、消防署・各分署までご相談ください。日時、曜日などは問いません。

☎能登消防署☎ 62-0492

柳田分署☎ 76-0085

内浦分署☎ 72-0282

## 能登町 Quiz 100選

100の質問に答えて 当てよう能登町の特産品!

故郷・能登町の歴史、文化、自然、人物、特産品、観光地などを100のクイズにして毎月10問ずつ出題します。クイズに挑戦して、能登町の魅力を再発見してみましょう。あなたは何問わかりますか?

**Q71** 原油高で木炭が見直されている。その原木で別名「ハハソ→ホウソ」と言う樹木は次のどれ?

- ①クリ ②コナラ ③クヌギ

**Q72** 「能登の芭蕉」と評された俳人・井田寒厓が眠る真脇のお寺はどこ?

- ①新善光寺 ②上日寺 ③長願寺

**Q73** 北河内にある町文化財「いぼ地蔵」の本体は?

- ①石の地蔵さん ②木の地蔵さん

**Q74** 12月5日のアエノコトで田の神様にそなえる二股大根の意義は?

- ①人形 ②単なる飾り ③食材



**Q75** 10月23日に竣工式を挙げた寺田川ダムはどこにある?

- ①俣倉 ②猪平 ③鶴町

**Q76** 宇出津の伝承お雑煮の掛け汁はシンプルなもの。その単一食材は?

- ①マグロ ②カツオ ③タラ

**Q77** 近年、当町の野山で著しく増えていると思われる動物は次のどれ?

- ①キツネ ②タヌキ ③ウサギ

**Q78** 郷土料理の一つ「べん漬け」の調味料は?

- ①からし ②いしり ③米こうじ

**Q79** 能登杜氏が崇敬する、酒造りの神様をまつっている神社は?

- ①白山神社 ②日吉神社 ③松尾神社

**Q80** 石川県水産総合センターの前身・石川県水産講習所が開所したのは明治何年か?

- ①28年 ②31年 ③37年

〈11月号回答〉Q61 ②鱒 / Q62 ①杉材 / Q63 ③神道柿 / Q64 ③けなす / Q65 ③中世末 / Q66 ③釣鐘 / Q67 ②300年 / Q68 ①コウゾ / Q69 ②碓島 / Q70 ①興福寺

☎商工観光課☎ 72-2505

FAX72-2108

## 雇用創出アイデアを募集します

雇用機会の拡大、人材の育成、地域求職者の就職促進などの雇用対策を支援する「地域雇用創造推進事業」のアイデアを募集しています。

奥能登は依然として厳しい雇用情勢が続いています。この事態を打開するためには、地域で創意工夫を凝らして新たな雇用を作り出したり、雇用を拡大する必要があります。

求職者、在職求職者、創業希望者の就職促進や創業に直接高い効果が期待できる提案については、平成20年度から「地域雇用創造推進事業」として重点的に推進し、人材確保・人材育成への支援を実施していきます。

例えば、このような提案を期待しています。

◆今後3年程度を目途に、新たな能登ブランド産品を考えている。

◆現在保有している能登ブランド産品の売上を向上させるため、新たな市場開拓のノウハウを蓄積したい。

◆雇用拡大を行うため中堅社員に技術研修を行いたい。

提案は①提案のタイトル②提案の内容③提案により確保可能な地域求職者の人数などを記入した提案票を提出ください。  
 〈締め切り〉12月14日(金)  
 〈問い合わせ・提案送付先〉能登町字松波13-75(内浦庁舎) 商工観光課☎ 72-2505 FAX72-2108

# 今年も冬将軍が やってくる。

町は毎年除雪計画を立て対策しています。しかし町道は国道・県道に比べると道幅が狭く除雪機が入らない道路があるなど完全な除雪ができない場合があります。

万全な除雪体制の確立にはみなさんの協力が必要不可欠です。次のことに注意して、力を合わせて除雪に努めましょう。

- ①自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしないでください。
- ②除雪機の前後に飛び出したり進行の妨げにならないようにしましょう。
- ③屋根雪や住宅前の除雪は各自で行ってください。
- ④狭い路地などは町内のみなさんで除雪しましょう。
- ⑤道路（特に通学路・歩道）に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めましょう。
- ⑥各町内にある消火栓、防火水槽、ごみ収集箱付近の除雪は町内で行いましょう。
- ⑦除雪の際やむなく民地へ雪を押し出す場合もあります。ご了承ください。
- ⑧除雪に関する問題については、まず区長・町内会長にご相談ください。

問 建設課 ☎ 76-8304



## 奥能登食彩紀行シンボルイベント

### まいもん まるかじり王国

この冬、奥能登のニューブランドとして新しく誕生した「能登丼」。奥能登にこだわった素材を使うオリジナルの丼レシピを募集します。  
〈募集内容〉①「能登丼」の定義を守った創作「能登丼」であること②未発表のオリジナルレシピであること  
〈応募資格〉小学生以上

〈応募方法〉応募用紙に必要事項

を記入のうえ、丼の内容がわかる完成写真(L判サイズ)を同封し12月28日(金)までに下記まで郵送ください。※12月28日消印有効  
応募用紙は役場各庁舎、支所、出張所の窓口にも備えるほか、町ホームページからダウンロードできます。

〈審査方法〉1次審査：写真・レシピ審査(選ばれたレシピの使用権は協議会に帰属)

2次審査：1月19日(土)「まいもんまるかじり王国」輪島会場道の駅輪島「ふらっと訪夢」にて試食審査

問 奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会事務局(県奥能登総合事務所内)

#### 「能登丼」の定義！

- ・奥能登のコシヒカリを使う
- ・能登産の器を使う
- ・奥能登の水を使う
- ・能登産の箸を使う
- ・地場でとれた旬の魚介類、野菜または伝統保存食を使う
- ・健康、長寿、ヘルシーにこだわる
- ・オリジナリティ(奥能登らしい)あふれる丼

## 電子証明・申告で所得税を控除

電子証明書は、国や地方の行政機関が行う電子申請・届出などの行政サービスを通して安心して受けるために利用するもので、町役場で手続きする「公的個人認証サービス」で発行されています。

今回取得促進のために、電子証明書を使う個人の電子申告において所得税額の特別控除制度が創設されました。

これはe-Tax(国税電子申告・納税システム)を利用して平成19年分または20年分(いずれか1回)の所得税の確定申告書を申告期限までに提出する際に、本人の電子署名と電子証明書とを送信した場合に、所得税から最高5,000円を控除するというものです。この機会にぜひ電子証明書とICカードリーダーライターを取得して利用してはいかがでしょうか。

確定申告時期が近づくと窓口が混み合う場合がありますので、電子証明書の取得はお早めをお願いします。

■電子証明書の取得 住民票のある市町の窓口で住民基本台帳カード(住基カード)を入手し申請書などを提出して取得できます。

■発行手数料 住基カード：500円 電子証明書：500円

問 町民課 ☎ 72-2501 (e-Taxについては輪島税務署 ☎ 0768-22-2242)

#### 用語解説

- ・公的個人認証サービス：電子証明書を利用することにより、インターネットによる行政手続きを安心して利用できるサービス
- ・電子署名：送信したデータが改ざんされていないかどうか確認することができるもの
- ・住基カード：主に本人確認などに利用されるセキュリティの高いICカード
- ・ICカードリーダーライター：ICカードを読み込むための機器でパソコンに接続して使う



## あなたが創る 能登丼コンテスト

あなたのオリジナルレシピを  
大募集します！

海の幸か山の幸か。  
あなたの「能登」を  
どんぶりに。



# くらしの 掲示板

## 催し・イベント

### 平成20年能登町成人式の案内

〈日時〉1月13日(日) 10:30～  
〈場所〉内浦第二体育館  
〈対象〉昭和62年4月2日から昭和63年4月1日生まれの能登町内中学校卒業生および能登町在住者  
※成人式の招待状が届いてない人は至急ご連絡ください。  
※送迎バスなどの時刻などは広報1月号に掲載予定です。



問 生涯学習課 ☎ 72-2510

## いしかわ自然学校ヤドカリ学級

### ■クリスマスリースをつくろう！

磯に流れ着いたヒトデや流木などを使ってリースを作ります。

〈日時〉12月8日(土) 13:30～15:30  
〈場所〉のと海洋ふれあいセンター  
〈対象〉小学校低学年以下の人は保護者同伴でご参加ください(定員:20人)  
〈参加費〉材料費250円(高校生以上は入館料200円が別途必要)

### ■ポストカードをつくろう！

乾燥させた海藻を使って年賀状やクリスマスカードを作ります。

〈日時〉12月15日(土) 13:30～15:30  
〈場所〉のと海洋ふれあいセンター  
〈対象〉小学校低学年以下の人は保護者同伴でご参加ください(定員:20人)  
〈参加費〉無料(高校生以上は入館料200円が別途必要)

問 のと海洋ふれあいセンター ☎ 74-1919

## クリスマス・イブは能登空港で

### ■能登空港ふれあい広場(無料)

〈日時〉12月23日(日) 13:00～  
〈出演〉オーケストラアンサンブル金沢  
※「知ってる能登空港クイズ」を同日開催します。

### ■能登空港クリスマスイベント

〈日時〉12月24日(月) 10:00～16:00  
〈内容〉

- ・今年もサンタがやってくる 11:10～
- ・珠洲実高プラス演奏(2回)
- ・親子でつくるクリスマスケーキ教室 13:00～※定員20組、12月14日(金)までに申し込み
- ・ビデオ映写会 14:00～15:30
- ・ビンゴ大会 ①10:30～②12:30～
- ・バルーンアート&マジック 13:10～

問 能登空港賑わい創出実行委員会

☎ 0768-26-2303

## 相談

### 起訴の不满・相談は検察審査会

交通事故、詐欺、脅しなどの犯罪に遭い警察や検察庁に訴えたが事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの人はお気軽に検察審査会へご相談ください。費用は無料で秘密は固く守られます。

審査会を構成する審査員は、衆議院議員の選挙権を持つ人の中から本人の希望のあるなしに関わらずくじで選出されます。もし選ばれた場合はご協力をお願いします。

問 輪島検察審査会 ☎ 0768-22-0054

### 人権について考えてみませんか

12月4日から10日までは人権週間です。町では7人の人権擁護委員が地域住民



の基本的人権が侵害されないようさまざまな活動を行っています。

心配ごとがある人は下記の常設相談などをお気軽にご利用ください。

〈常設相談所〉

金沢地方検察庁人権擁護課

☎ 076-231-1247

金沢地方検察庁輪島支局

☎ 0768-22-0426

〈女性の人権ホットライン〉

☎ 0570-070-810

〈子どもの人権110番〉

☎ 0120-007-110

問 町民課 ☎ 72-2501

### 無料クレサラ相談を実施します

金沢弁護士会では能登法律相談センターを運営しています。お気軽にご相談ください。

〈12月の相談日〉6日、13日、20日(木曜日) 13:45～16:15

〈場所〉穴水町地域情報センター

〈相談料〉30分以内 5,000円

※ただしクレサラ相談・負担が困難で法律扶助資力基準に該当する人は無料〈申し込み〉相談日前日の午後5時までに電話で予約ください。

問 金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242

### 日常の心配ごとを相談ください

日常生活での悩みごとや心配ごとに相談員が親身になってお応えします。

〈能都庁舎〉

7日(金)、19日(水) 10:00～12:00

〈笹ゆり荘〉

11日(火)、25日(火) 10:00～12:00

〈内浦福祉センター〉

10日(月) 13:30～15:30

〈小木支所〉

20日(木) 13:30～15:30

問 社会福祉協議会 ☎ 72-2322

# 遊能登

EnjoyNoto  
奥能登イベント情報

## 珠洲市

○ラポルト JAZZ ナイト ニクラス・ウインター・カルテット 12月8日(土) 19:00～



〈見所〉ラポルトすずで北欧ジャズの世界をお楽しみいただけます。能登吹奏楽連盟ビッグバンドも共演。前売券は3,000円、当日券は3,500円です。

☎ラポルトすず ☎82-8200

## 輪島市

○能登總持寺祖院「ゆく亥くる子」  
静と動の響き 12月31日(月) 22:30～



〈見所〉震災からの復興を祈願し、新年を元気に迎えます。幻想的な光が照らす山門での御陣乗太鼓や總持寺祖院の恒例行事の大般若経の迫力は一見の価値あり。今年の年越しは總持寺祖院にお越しください。

## 穴水町

○穴水湯ったり館営業再開 12月25日(火)～



〈見所〉地震被害により休業していた「穴水湯ったり館」がついに年末リニューアル・オープンします。3人入れる女性用の岩盤浴もできました。営業時間は11時から22時、年末年始は休まず営業します。

☎穴水湯ったり館 ☎0768-52-3030

今日のオアシス!



**宮本延春**  
■オール1の落ちこぼれ、教師になる  
いじめ、引きこもり、学校嫌い、全てのどん底を経験してわかったこととは。



**諏訪哲史**  
■アサッテの人  
芥川賞、群像新人文学賞のダブル受賞を飾った驚異の新人

## 12月の新刊案内

ちりとてちん(上) 藤本有紀  
つばさよつばさ 浅田次郎  
幸菌スプレー(すっぴん魂(7)) 室井 滋  
臥竜の天(上下) 火坂雅志  
書庫の母 辻井 喬  
はぐれ鷹 熊谷達也 ほか

★新刊 DVD それいけ!アンパンマン  
「アンパンマンのジングルベル」ほか

## 行事あない

- おはなし会 8日(土)、19日(水) 14:30
- おはなし学習会 12日(水) 19:30
- おはなし勉強会 16日(日) 13:30
- 読書会 26日(水) 13:30

〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00

〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日、月末(図書整理日)  
年末年始 12月29日(土)～1月3日(木)

# 図書館へおいでよ

中央図書館(宇出津公民館内)  
☎62-3458

## ●児童館12月の行事予定●

### こどもみらいセンター ☎62-1503

◆開館時間 9:15～17:00 ◆休館日 月曜日、第3日曜日  
※年末年始 28日(土)～1月4日(木)まで

- 2日(日) 13:30 ニュースポーツ大会(小学生以上)
- 7日(金) 10:30 ★ぴよぴよタイム
- 14日(金) 10:30 ★クリスマス会
- 15日(土) 13:00 カレンダー作り(小学生以上)
- 21日(金) 10:30 ★身体測定
- 22日(土) 13:30 ノームクリスマス会(誰でも参加OK!)
- ★:対象は未就園児の親子

### まつなみキッズセンター ☎72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日  
※年末年始 29日(土)～1月3日(木)まで

- 1日(土) 14:00 読み聞かせボランティアひまわり
- 5日(水) 15:00 クリスマス☆ミニお茶会
- 12日(水) 15:00 あつぷるくらぶ「ミニサッカー」
- 15日(土) 14:00 読み聞かせボランティアひまわり
- 19日(水) 15:00 あつぷるたいむ「クリスマス☆パーティー」
- 6日・13日・20日・27日(木) 10:00 児育て教室

# 能登の寒ぶりまつり

12月9日(日) 午前10時～ 宇出津商店街特設会場

◆寒ぶりの解体・即売: ① 11:00～ ② 14:00～

- ◆うまいもん広場: 特産品や加工品が盛りだくさん
- ◆大漁鍋無料配布: 魚介類たっぷりの鍋を先着500人に
- ◆漁師のおかみさん市: 新鮮な魚介類を販売
- ◆海鮮炭火焼: 魚介類を炭火でどうぞ
- ☎魚の美味しいまちづくり実行委員会(商工会内) ☎62-0181

## 美味しい寒ぶりが食べられるお店! ※要予約

寒ぶりの美味しい期間は12月上旬から1月中旬です。

| 店名         | 予算目安                          | 電話(0768) |
|------------|-------------------------------|----------|
| 割烹 あたか     | 造り1,200円～、定食1,800円 コース4,500円～ | 62-0517  |
| 居着屋 風来坊    | コース4,500円程～                   | 62-2506  |
| 和風レストランこじま | 定食1,470円～3,400円               | 62-3901  |
| 料理民宿 一水    | 1泊2食付き10,000円～                | 74-0246  |
| 民宿 かね八     | 1泊2食付き10,000円～                | 62-0046  |
| 民宿 ふわ      | 1泊2食付き10,000円～                | 62-0150  |
| ホテルのときんぶら  | 1泊2食付き10,000円～                | 74-0051  |



ぶりの刺身



ぶりカマ



ぶり大根



ぶりなます

☎商工観光課 ☎72-2505

※江戸時代「能登の寒ぶり」は一般に販売される前に「御用鱈」として加賀藩へ献上されていました。



※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

## がんばりました(結果)

### 全能登中学校新人陸上競技大会(10/18)

- 柳田中学校
- 〈砲丸投〉②脇 胡桃(9m45)
- 〈100m〉②小谷彩佳(14秒21)
- 〈100mH〉①小谷彩佳(16秒97)
- ③信田有里彩(19秒59)
- 〈走幅跳〉④橋本莉奈(4m40)
- 〈走高跳〉②山本恵未(1m48)

- 〈1年走幅跳〉④森田智美(4m14)
- 〈4×100mR〉③脇、橋本、六田、小谷(55秒56)
- 〈1年4×100mR〉②紺谷、森田、山本、信田(58秒72)
- 能都中学校
- 〈1年100m〉②本谷好啓(12秒89)
- 〈共通400m〉⑥西出智洋(59秒87)
- 奥能登地区少年柔道大会(10/21)

- 〈団体〉③雄志館 A
- 〈小学1年〉①尾形怜雅(雄志館)
- ③山口海里(同)・松井幹太(同)
- 〈小学3年〉③和田祐樹(雄志館)・尾形結熙(同)
- 〈小学4年〉①山本達也(雄志館)
- ③岡野智(同)・久田孔輝(同)
- 〈小学5年〉②山本竜之介(雄志館)
- ③石垣今日太(同)
- 〈中学の部〉②鈴ヶ嶺龍宗(能都)
- ③東手翔太(同)・新田優斗(同)

### 県高等学校新人体育大会ウエイトリフティング競技大会(11/10)

- 〈男子77kg級〉①西中竜馬(飯田高2年・松波) トータル233kg ※大会新
- 〈男子85kg級〉①石川裕弥(珠洲実高1年・小木) トータル153kg

### 能登町民インディアカ大会(10/15～11/15)

- ①高倉消防団 ②木郎走志会 ③高倉



優勝した高倉消防団のメンバー

能登消防署 ☎62-0492  
柳田分署 ☎76-0085  
内浦分署 ☎72-0282



## 消防署や町役場は訪問販売しません!

「消防から来た」「役場の方から来た」と言って住宅用火災警報器を高値で売りつける悪質商法被害が発生しています。消防署や役場など公的団体を名乗る訪問販売がやって来た場合は警察・消防までご相談ください。

### 煙体験ハウスを配備

宝くじ助成事業により、煙体験ハウス、水消火器15本、圧力充鎮用コンプレッサーが能登町消防団に配備されました。煙体験ハウスは火災時における煙の怖さと対処法を身に付けることができます。水消火器は、初期消火の訓練を繰り返し体験することができます。



### 宇出津第1分団に最新鋭ポンプ車を配備

11月11日、宇出津第1分団新型ポンプ自動車の入魂式が行われ、持木町長から山本町消防団長に目録が手渡されました。



### 川本副士長が最優秀賞

奥能登広域圏消防職員意見発表会が11月6日に行われ、能登消防署の川本副士長が最優秀賞に輝きました。



# 国民年金はのし

## 公的年金は世代と世代の支え合い

### 年金受給者のみなさんへ

■住民票コードが記入されました  
昨年より現況届のハガキに住民票コード番号が記入されました(12月生まれの人から)。住民票コードを記入して提出された人には、今後ハガキは届きません。  
※65歳到達の際には現況届の提出が必要になります。

### 扶養親族等申告書を忘れずに

高齢年金などは所得税(雑所得)がかかります。所得税の控除を受けるための大切な申告です。

### 国民年金保険料を納入しているみなさんへ

年末調整や確定申告をする場合には社会保険業務センターから送付される「社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書」の添付が必要です。この証明書は1年間納めた国民年金保険料を証明するものです。19年1月から9月分は11月

月上旬に、10月分から12月分は20年の2月上旬に送付されますので大切に保管しましょう。

### 厚生年金基金加入のみなさんへ

厚生年金基金のある企業を短期で退職し、現在60歳以上になられた人で、まだ企業年金を受け取っていない場合は左記までご連絡ください。

☎0120-4581865

### 住所変更はありませんか?

みなさんの大切な年金記録となる「ねんきん特別便」が12月以降に送付されます。

約5000万件の未統合記録と基礎年金番号で管理されている記録との名寄せなどを行い、その結果記録同士が結びつくと推定される人について、加入期間および加入履歴を記載した年金記録が送付されます。  
※ご確認ください!

社会保険庁に届けている住所が現住所と違っていらっしゃる人には「ねんきん特別便」が届きません。この機会にご確認ください。

☎町民課年金係 ☎72-2501  
能登サービス室 ☎62-8500  
柳田サービス室 ☎76-18300

## 入札結果 10月16日～11月15日 (30件)

| 件名                          | 場所    | 落札額(円)     | 落札業者    | 件名                                  | 場所   | 落札額(円)     | 落札業者       |
|-----------------------------|-------|------------|---------|-------------------------------------|------|------------|------------|
| 【町民課：1件】                    |       |            |         | 【建設課：4件】                            |      |            |            |
| 単独災害復旧事業<br>能登町役場内浦庁舎外壁補修工事 | 松波    | 22,300,000 | ㈱西中建設   | 町道波並1号線 測量設計業務                      | 波並   | 1,150,000  | ㈱武田測量設計事務所 |
| 【農林課：15件】                   |       |            |         | 町道1級藤波宇出津1号線<br>側溝改修工事              | 宇出津  | 1,930,000  | ㈱木村建設      |
| 柳田地区 農業集落道整備工事              | 柳田    | 5,100,000  | ㈱吉田土建   | 町道内浦長尾5号線 道路改良工事                    | 内浦長尾 | 980,000    | 南山工務店      |
| 波並漁港浚渫工事                    | 波並    | 1,220,000  | ㈱共立建設   | 町道2級柿生1号線 測量設計業務                    | 柿生   | 5,200,000  | ㈱鳥越        |
| 矢波漁港用地補修工事                  | 矢波    | 880,000    | ㈱釣谷組    | 【生涯学習課：2件】                          |      |            |            |
| 農地災害復旧工事                    | 宇出津山分 | 850,000    | ㈱木村建設   | 真脇遺跡史跡整備事業<br>真脇川暗渠化工事              | 真脇   | 33,400,000 | 鈴平建設㈱      |
| 農地災害復旧工事                    | 藤ノ瀬   | 640,000    | ㈱宮田組    | 五郎左工門分遺跡発掘調査事業<br>出土品整理業務           | 寺分   | 2,400,000  | 日本海航測㈱     |
| 農地災害復旧工事                    | 柿生    | 500,000    | 須美矢建設㈱  | 【水道課：8件】                            |      |            |            |
| 農地災害復旧工事                    | 本木    | 585,000    | ㈱能都左官   | 免谷橋・団子田橋添架工事                        | 黒川   | 10,000,000 | 柳田建設㈱      |
| 農地・排水路災害復旧工事                | 当目    | 950,000    | ㈱渡瀬建設   | 時長地区水道未普及地域解消事業<br>連絡管布設工事(明野地内)1工区 | 明野   | 9,430,000  | 梶福設備       |
| 農道災害復旧工事                    | 当目    | 4,000,000  | 柳田建設㈱   | 時長地区水道未普及地域解消事業<br>連絡管布設工事(明野地内)2工区 | 明野   | 19,700,000 | ㈱新村商会      |
| 農道災害復旧工事                    | 当目    | 550,000    | 島屋建設㈱   | 瑞穂地区給水区域内無水源地域簡易水道事業<br>山田配水管布設工事   | 山田   | 13,580,000 | みずほ建材      |
| 農道災害復旧工事                    | 黒川    | 1,100,000  | 丸建道路㈱   | 柳田地区簡易水道再編推進事業<br>五十里浄水場増設工事        | 五十里  | 24,950,000 | 隅屋建設㈱      |
| 農道災害復旧工事                    | 十郎原   | 700,000    | 島屋建設㈱   | 柳田地区簡易水道再編推進事業<br>五十里浄水場増設機械設備工事    | 五十里  | 33,500,000 | ㈱柿本商会      |
| 農地・排水路災害復旧工事                | 柳田    | 580,000    | ㈱干場重機建設 | 柳田地区簡易水道再編推進事業<br>五十里浄水場増設電気計装工事    | 五十里  | 18,200,000 | ㈱柿本商会      |
| 農道災害復旧工事                    | 中斉    | 1,950,000  | ㈱ｱｯｸ    | 公共下水道事業に伴う<br>配水管布設替工事(松波その4)       | 松波   | 8,470,000  | 武田設備       |
| 農道災害復旧工事                    | 中斉    | 2,700,000  | 協和道路㈱   |                                     |      |            |            |

※入札結果の件名は一部省略してあります。  
落札額には消費税相当額は含まれていません。

# 安心安全まちづくり



## 年末年始 特別警戒取締

多額の現金を持ち歩く機会が増える年末年始。いつも以上に気を引き締めて強盗、ひったくり、車上狙い、空き巣などの被害に遭わないように気をつけましょう。

- 〈被害を防止するために〉
- ・外出時や就寝時は玄関の鍵をかけましょう
  - ・かばんは車道と反対側の手で持って歩きましょう。
  - ・自動車内に貴重品は置かないようにしましょう
  - ・金融機関やスーパーを利用する際は車のエンジンを切ったアロックをしましょう
  - ・納屋や倉庫にも鍵をかけましょう

能登警察署  
能登防犯協会  
能登交通安全協会  
☎62-1334



## 年末の交通安全県民運動!

12月11日(火)～20日(木)まで

- 〈運動重点〉
- ①高齢者の交通事故防止に努めよう
  - ②飲酒運転を根絶しよう
  - ③夜間の交通事故防止と冬道の安全走行に努めよう
  - ④うしろの席も含めたシートベルトと、チャイルドシートの正しい着用をしよう

# メタボリックシンドロームを予防・解消しよう!

## ～糖尿病・耐糖能異常って、なあに?～

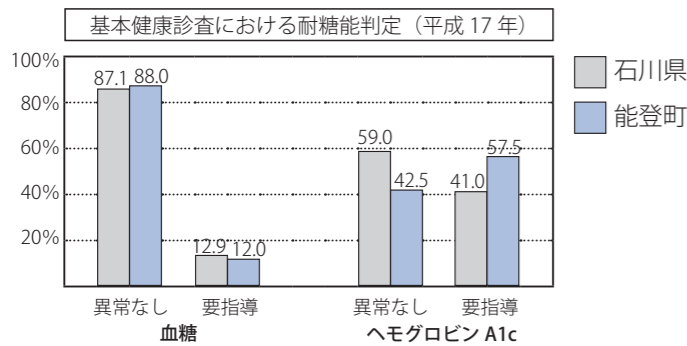
### ◆糖尿病・耐糖能異常とは?

糖尿病とは、すい臓でつくられるインスリンというホルモンの分泌や働きが悪くなり、血液中のブドウ糖の量(血糖値)が過剰に増加する病気です。また糖尿病の一手前という前段階を「耐糖能異常」といいます。

糖尿病・耐糖能異常の発見の手だてになる検査として、血糖およびヘモグロビンA1cがあります。ヘモグロビンA1cは、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を検査するもので、飲食により変動する血糖とは異なり長期的な血糖のコントロール状態を知ることができます。

| 基準値       |             |
|-----------|-------------|
| 血糖(空腹時)   | 110mg/dl 未満 |
| 血糖(随時)    | 140mg/dl 未満 |
| ヘモグロビンA1c | 5.5% 未満     |

平成17年度の基本健康診査における耐糖能判定結果では、ヘモグロビンA1cが高めと判定された方の割合は能登町のほうが石川県全体よりも多い傾向にありました。



### ◆メタボリックシンドロームとの関係は?

糖尿病・耐糖能異常は内臓脂肪型の肥満と密接にかかわっています。内臓脂肪の蓄積は過栄養と運動不足が原因です。不健康な生活習慣がインスリンの分泌や働きを悪くし(インスリン抵抗性という)、高血糖(血糖が高い状態)を招きます。

### ◆血糖をコントロールする生活習慣を

糖尿病・耐糖能異常は内臓脂肪型の肥満と密接な関係にあるため、内臓脂肪を減らすような生活習慣を送ることが大切です。日ごろから適正エネルギー量での食事を心がけ、日常生活の中でできるだけ体を動かして運動不足を解消できるように、生活習慣を見直してみましょう。

## わたしの健康づくりはコレ!

今までの生活習慣の成果が実り、健康診断の結果で“高脂血症”という聞き慣れない言葉が出現しました。最近よく騒がれているメタボリックシンドロームにも該当していたため、一念発起しました。

それからは『いつまでに何キロ』という目標を持って、毎日就寝前に体重を量り、1日3食きちんと食べ、食事を分析して高カロリーのもの(揚げ物、天ぷら、マーガリン、砂糖など)を減らし、たんぱく質、炭水化物、脂質、ビタミンやミネラルをバランス良くとるようにしています。

そのおかげか、今年の1月からダイエットをはじめて今では約20kgの減量に成功しました。メタボリックシンドロームの基準値をあと少しでクリアできそうです。ただ、嬉しいのか悲しいのか、今まで買った洋服が大きすぎてほとんど着ることができなくなってしまい、財布は火の車状態です。

現在は軽い運動をしながらダイエット中ですが、リバウンドをしないよう自分に対して厳しく「効果



を得るためには努力が必要なんだ」という言葉を心に強く持ってこれからも励んでいきたいと思っています。

35歳・会社員(宇出津地区)

#### 【栄養編】

・まとめ買いをせずに、食べ過ぎ防止

#### 【運動編】

・下の物を取るついでにしゃがんだ姿勢をキープしてスクワット。

## 今月のチャレンジ!

実行できた日は「○」印、できなかった日は「×」印をカレンダーに記録しましょう。

## 来年4月から始まる「後期高齢者医療制度」の保険料

### ■保険料の納め方

「原則として特別徴収(年金からの天引き)となります」

・年額18万円以上の年金を受給している方は、年金から保険料が天引き(特別徴収)されます。介護保険料と合わせた額が年金の2分の1を超える場合は、年金からの天引き対象になりません。

・保険料の年額は年金支払い月の年6回に分けて天引きされます。

〈普通徴収の場合〉

・特別徴収に該当しない人は、自主納付・口座振替などで町に納めます。

・普通徴収の納期は、石川県内統一で12期です。

### ■保険料を滞納した場合

「短期被保険者証・被保険者資格証明書を交付する場合があります」

#### ①短期被保険者証

保険料を滞納した場合に、通常の被保険者証より有効期間の短い「短期被保険者証」を交付する場合があります。

#### ②被保険者資格証明書

納期限から1年以上滞納した場合には、災害などの特別な理由がある場合を除き被保険者証を返還してもらい、代わりに「被保険者資格証明書」を交付することになります。

被保険者資格証明書が交付された場合、医療機関の窓口では医療費の全額を支払い、そのあと役場で申請することにより保険給付費相当額の支給を受けることになります。

※保険料は広報1月号でお知らせします。この記事は9月末時点の厚生労働省資料を基に作成しています。

☎健康福祉課医療介護 ☎72-2502

後期高齢者医療広域連合 ☎076-223-0140

### 3～4カ月児健診・BCG接種

〈期 日〉12月13日(木)

〈受付時間〉13:10～13:30

〈場 所〉能都庁舎 1階集会室

〈対象児〉平成19年7月17日～8月30日生まれ

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG予診票、バスタオル、おむつなど

〈担 当〉3～4カ月児健診：公立宇出津総合病院小児科医師  
BCG接種：千間医師

### 3歳児健診

〈期 日〉12月20日(木)

〈受付時間〉13:10～13:30

〈場 所〉能都庁舎4階ホール

〈対象児〉平成16年9月1日～10月7日生まれ

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票①・②、採尿容器

〈担 当〉小児科医師・歯科医師・歯科衛生士・保健師・栄養士・保育士

### 赤ちゃん相談

〈期 日〉12月6日(木)

〈受付時間〉9:30～11:10 ※講話10:00～

〈場 所〉能都庁舎 1階集会室

〈対象児〉満1歳未満のお子さん

〈ミニ講話〉子育ては元気な身体が基本です

～大人の健康についても考えてみよう～

〈持ち物〉母子健康手帳、バスタオル、おむつなど

〈担 当〉保健師・栄養士・母子保健推進員

### 献血のお知らせ

18歳～69歳までの方、献血にご協力ください。

〈期 日〉12月13日(木)

〈受付時間〉9:00～12:00、13:00～15:00

〈場 所〉能都庁舎



## 宇出津総合病院だより (☎62-1311)

<http://www.hospitalnet.jp/>  
診療情報は、病院ホームページで確認できます。

### ■小児科専門外来

〈循環器〉12月4日(火)14:00～16:00 〈小児神経〉12月25日(火)14:00～16:00

### ■年末年始の休診日

12月29日(土)から1月3日(木)まで休診となります。

※救急患者の受け入れは通常どおり行います。

# 編集後記

「子どもにテニスをしてほしいですか？」と親に尋ねると「テニスはお金がかかるから・・・」という答えが返ってくる人が多い。これは大きな誤解だと思う。実際に子どもがテニスをしている親に聞くと、「能登町でテニスをやる分にはお金がかからない」という。能登地区の大会、県大会、北信越大会など、試合の多くがここ能登町の健民テニスコートで開催されている。つまり、ほかのスポーツに比べて、ソフトテニスの試合は地元で開催される割合が圧倒的に多いので、遠征費は思った以上にかからないということだ。

確かに全国大会に出場すればその遠征費はかかるが、わが子が全国大会に出場するという事は、親にとっても子どもにとっても貴重な体験。そこには「お金で買えない価値がある」のではないだろうか。

このまま何もせずに放置すると「テニスの灯」がこの町から消えてしまう。「時代の流れだからしょうがない」と何もしないのか、テニスをこの町の大切な文化として後世に引き継いでいくのか、選択の時は迫っている。

取材で出逢った人の手に人生が刻まれていた。数え切れない針仕事で出来たタコ、何度も力強く網をたぐり寄せていた指先は少し曲がっていた。本人は「こんな手」と言ったが、わたしにはきれいな手にしか見えなかった。偉い人の説教を聞くより、その手に触れた瞬間に自分のこれまでの甘さを痛感し、自分の生き方を考えさせられた。もし、あの人と同じ年まで生きることができたら、わたしも昔話を嬉しそうに話せる人間になりたい。

※個人情報保護のため、本人またはご家族の希望があったものを掲載しています



横山悠乃 博一・恵 滝之坊  
山本煌大 祐園・真理子 満泉寺  
岡平ゆうな 和彦・由紀 柳田  
田中浩武 研治・典子 柳田  
小谷内里華 豊信・幸江 姫  
井上虹七 遼佑 茂之・美由記 中  
波 博友・夏希 松 波 齊

|       |   |       |
|-------|---|-------|
| こ     | せ | き     |
| の     | ま | ど     |
| 10/16 | ～ | 11/15 |

うぶづいそ

|          |           |          |          |          |          |          |          |          |           |          |          |          |           |          |           |
|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|
| 八田圭司 宇出津 | 坂田めぐみ 熊本県 | 浦木 悟 宇出津 | 立岩 恵 五十里 | 池脇拓郎 河ヶ谷 | 田夢 眸 羽咋市 | 西原 徹 布 浦 | 魚棚理沙 松 波 | 道下夕輔 鶴 川 | 門前ひろみ 珠洲市 | 松村啓一 上長尾 | 松村百恵 上長尾 | 桶谷浩義 宇出津 | 古屋智恵美 志賀町 | 松井大樹 珠洲市 | 和田美也子 珠洲市 |
|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|

高砂や

|           |          |          |          |              |               |              |              |             |              |              |              |              |              |              |               |              |
|-----------|----------|----------|----------|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 棚橋真規夫 岐阜県 | 山下亜記 小 木 | 小川悟史 珠洲市 | 尾谷まゆ 金沢市 | 本谷一男 85歳 宇出津 | 上野宗三郎 76歳 恋 脇 | 藏前好雄 77歳 松 波 | 内平あき 92歳 笹 川 | 宮下ますい 81歳 姫 | 橋本輝夫 78歳 松 波 | 東又賢司 17歳 柳 田 | 薩摩定久 59歳 宇出津 | 前田テル 90歳 宇出津 | 巧 すぎ 85歳 小 木 | 東 つや 87歳 宇出津 | 山崎とみ 100歳 笹 川 | 角三孝次 77歳 満泉寺 |
|-----------|----------|----------|----------|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|

おくやみ

|              |              |               |              |               |              |               |              |              |              |                 |                 |                 |                 |                  |                |                |                |
|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|
| 上乗繁雄 92歳 崎 山 | 菊田 茂 84歳 布 浦 | 山根よしの 82歳 天 坂 | 井口正雄 95歳 宇 上 | 山瀬和子 74歳 宇 出津 | 平川幸市 88歳 本 木 | 南 幸太郎 85歳 小 木 | 高 茂一 81歳 笹 川 | 坂井榮信 77歳 宮 地 | 馬場 清 84歳 鶴 川 | 向 武雄さん(桐畑) 10万円 | 佐野常泰さん(柳田) 10万円 | 内平俊男さん(笹川) 10万円 | 巧 知春さん(小木) 10万円 | 菊田三代治さん(布浦) 10万円 | 以上、能登町社会福祉協議会へ | 向 武雄さん(桐畑) 5万円 | 以上、社会福祉法人多花楽会へ |
|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|

寄付御礼

# 人口動態 平成19年11月1日現在

|           |        |         |
|-----------|--------|---------|
| 人口(人)     | 22,396 | 先月比 -35 |
| 男         | 10,537 | -14     |
| 女         | 11,859 | -21     |
| 世帯数(戸)    | 8,129  | 4       |
| 外国人登録者(人) | 288    |         |
| 男         | 159    |         |
| 女         | 129    |         |

# 年末年始のごみ収集・受け入れ

|             |  |        |        |       |       |       |       |
|-------------|--|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| ごみ収集        | 29日(土)   | 30日(日) | 31日(月) | 1日(火) | 2日(水) | 3日(木) | 4日(金) |
| 能都地区        | ×  | ×      | ×      | ×     | ×     | ×     | ×     |
| 内浦地区        | ×  | ×      | ×      | ×     | ×     | ×     | ×     |
| 柳田地区        | ×  | ×      | ×      | ×     | ×     | ×     | ×     |
| 奥能登クリーンセンター | ●  | ●      | ●      | ●     | ●     | ●     | ●     |
| 内浦クリーンセンター  | ×  | ×      | ×      | ×     | ×     | ×     | ×     |
| 能都埋立処分場     | ●  | ●      | ●      | ●     | ●     | ●     | ●     |
| 内浦埋立処分場     | ×  | ×      | ×      | ×     | ×     | ×     | ×     |
| し尿収集        | 12月29日から1月3日までお休み  |        |        |       |       |       | 収集    |
|             | 年内の汲み取り・清掃を希望の人は12月14日(金)までにのどクリーンサービス(☎62-4400)に申し込みください。 |        |        |       |       |       |       |

●：受け入れ(8:30～16:30) ▲：午前中のみ受け入れ(8:30～11:30)  
×：受け入れしません ※能登三郷斎場は1月1日が休みです。

# のとネットTV 12月の番組案内

## のとほっとらいん

|      |            |        |
|------|------------|--------|
| 放送時間 | 月～金        | 翌日     |
|      | 18:30～(初回) | 6:35～  |
|      | 19:30～     | 11:00～ |
|      | 21:30～     | 12:30～ |
|      | 23:30～     |        |

・再放送は翌日のみとなります。



能登町百景取材にて③一羅漢山を登る一

## 特集番組！★きらきらチャンネル(自主制作番組) ■とくとくたいむ(提供番組)

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木               | 金  | 土  |
|----|--|----|--|-----------------|----|----|
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6               | 7  | 8  |
|    | ★第3回能登町民文化祭 その①  |    |  | ★第3回能登町民文化祭 その② |    |    |
| 9  | 10   | 11 | 12   | 13              | 14 | 15 |
|    | ★第3回能登町民文化祭 その③  |    |  | ★第3回能登町民文化祭 その④ |    |    |
| 16 | 17   | 18 | 19   | 20              | 21 | 22 |
|    | ■野村の自由学校<br>「薬師寺安田嘆鳳館主に聞く<br>人生の四季」                            |    | ★第4回能登町議会定例会<br>23日(日)を除く29日(土)まで<br>12月議会定例会の様子を数回に分けてお送りします。 |                 |    |    |
| 23 | 24   | 25 | 26   | 27              | 28 | 29 |
|    | ★第4回能登町議会定例会<br>23日(日)を除く29日(土)まで<br>12月議会定例会の様子を数回に分けてお送りします。 |    |  |                 |    |    |

※日曜リクエストは、「きらきらチャンネル」で放送した番組の中から再放送しています。番組のリクエストは広報情報推進課☎76-8301まで。放送時間は、毎週日曜日の①8:00②10:00③12:00④16:00⑤18:30⑥20:00⑦21:30の7回です。

# 今日の目玉番組

- きらきら・とくとく放送時間 月～土曜日
- ① 10:00(初回) ② 16:00 ③ 20:00 ④ 22:00
  - ◆町民文化祭放送内容のご案内  
11月4日に行われた町民文化祭芸術部門の様子を4回に分けて放送します。
  - ◆その① 12月3日(月)～5日(水)  
・大正琴(琴名流 柳田百合根の会、のとさきりしま会)・舞踊(珠山流 陽恵津会・美すず民謡(松波教室)・コーラス(しおさい)・日本舞踊(扇珠会・フラダンス(カフラ・オ・ハワイ宇出津教室)・津軽三味線(藤声会宇出津教室)
  - ◆その② 12月6日(木)～8日(土)  
・詩吟(北陸紫虹会)・民謡(昭実会 能登教室)・大正琴(琴城流 宇出津教室)【すみれ・秋桜】・舞踊(勸美穂会、治友会)・コーラス(鶴川エトワール)
  - ◆その③ 12月10日(月)～12日(水)  
・民謡(美すず民謡会【宇出津・小木・真脇】・舞踊(牧園会、珠山流 陽恵津会)・民謡(藤白会)・大正琴(琴城流 小木教室、柳田教室)
  - ◆その④ 12月13日(木)～15日(土)  
・詩吟(宇出津吟詠会)・謡曲・民謡(杉山民謡会)・舞踊(藤友会)・コーラス(ママレモンズ)・舞踊(珠山会、治寿々会)

★その他の番組：6:00～ラジオ体操、7:30～まちむらNOW(金土日は休)、8:00～農政番組(土日は休)、9:00～のびのびかんたんみんなで体操、9:30～里からの便り(金土日は休)、12:00～JA番組(土日は休)、15:00～のびのびかんたんみんなで体操、18:00～園芸番組(木金土日は休)  
★「のとほっとらいん」はインターネットでも同時配信しています。能登町ホームページからご覧ください。  
★番組と番組の間の時間には文字放送「テレビかわら版」でさまざまな情報をお伝えしています。